

図 1-2(1) ボーリング柱状図 (PB-1) (盛土: 深度 0~17.90m)



図 1-2(2) ボーリングコア写真 (PB-1) (盛土：深度 0～17.90m)

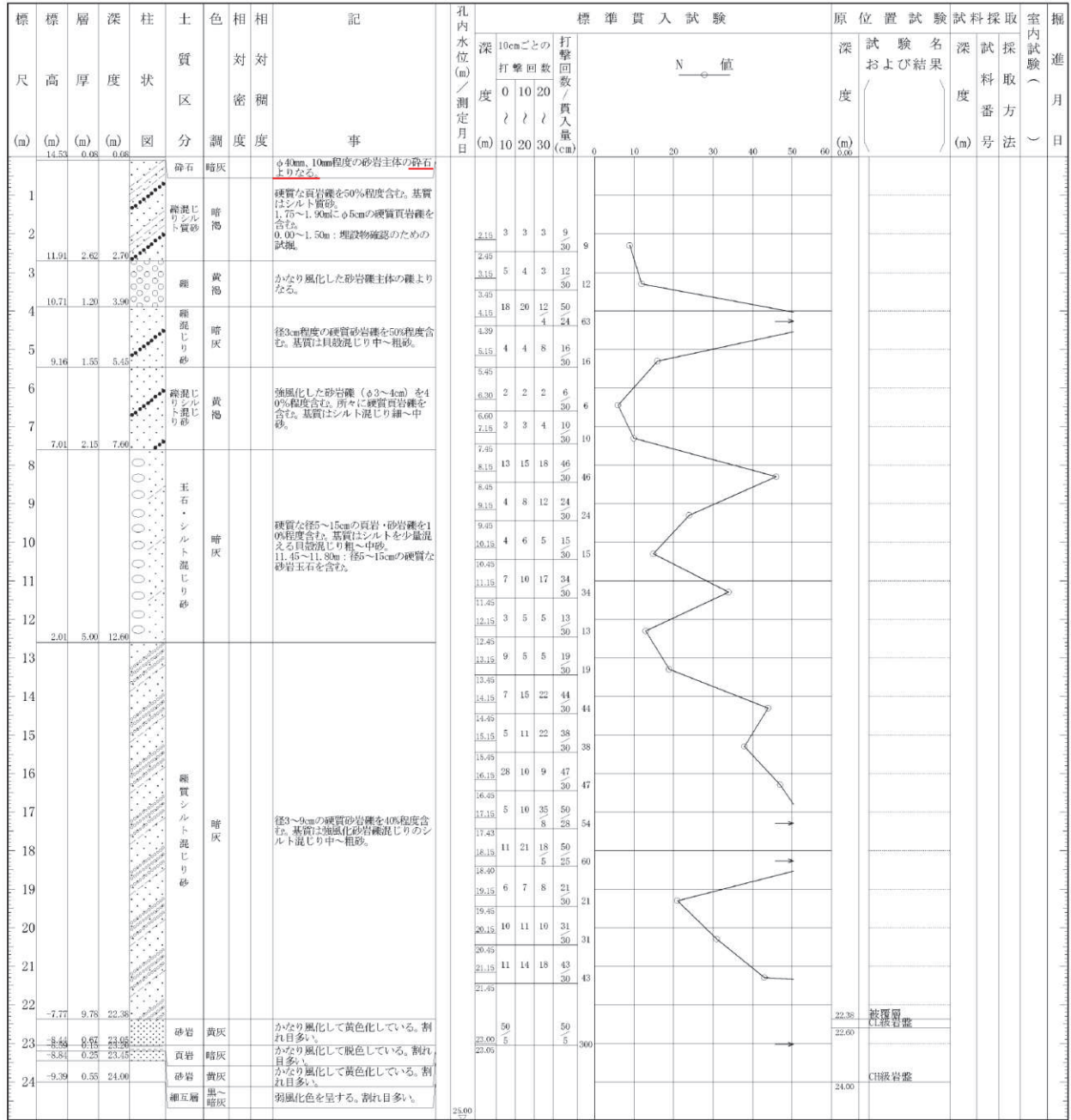


図 1-3(1) ボーリング柱状図 (PB-2) (盛土：深度 0~22.38m)



図 1-3(2) ボーリングコア写真 (PB-2) (盛土：深度 0～22.38m)

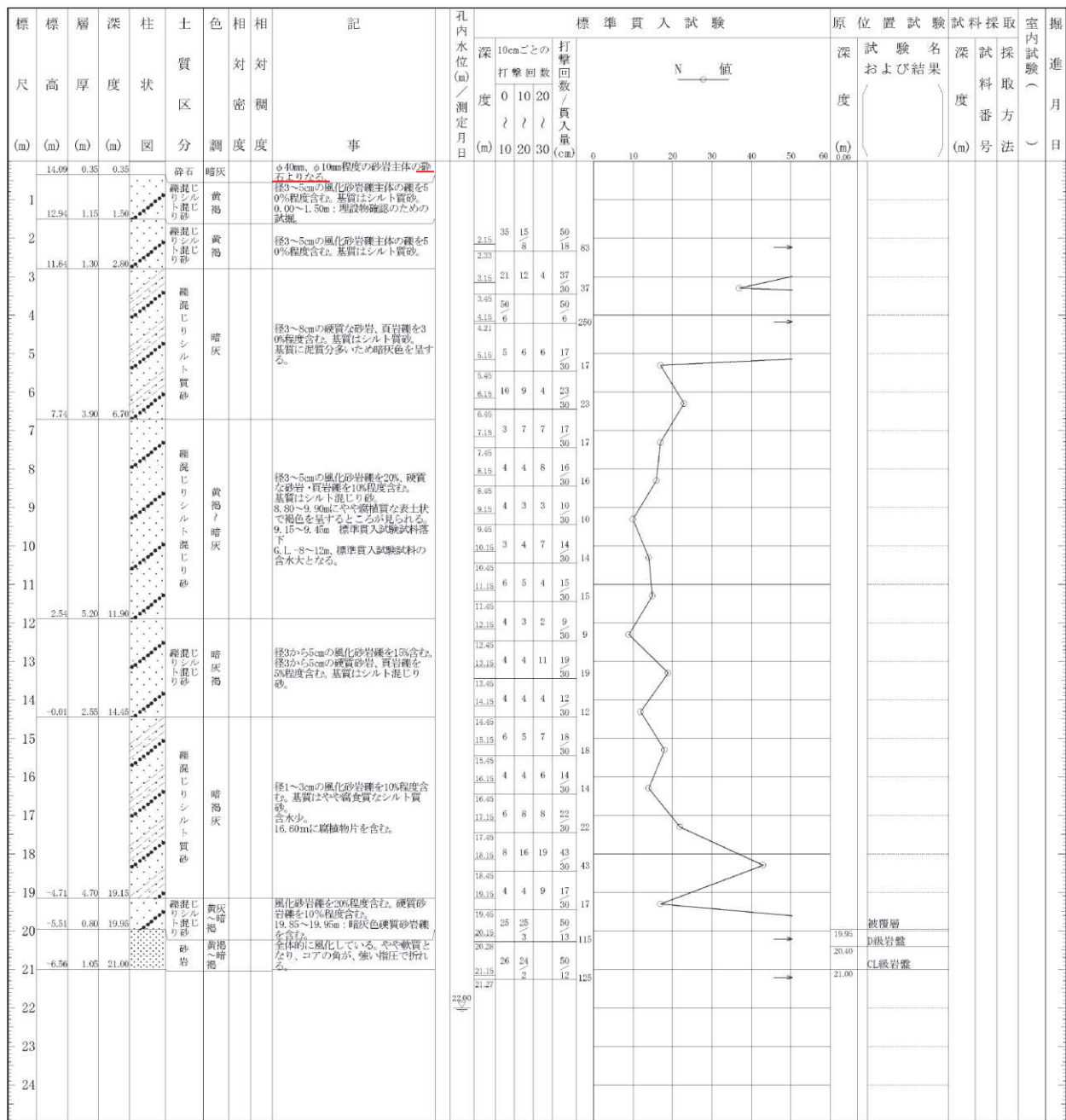


図 1-4(1) ボーリング柱状図 (PB-3) (盛土: 深度 0~19.95m)



図 1-4(2) ボーリングコア写真 (PB-3) (盛土：深度 0～19.95m)

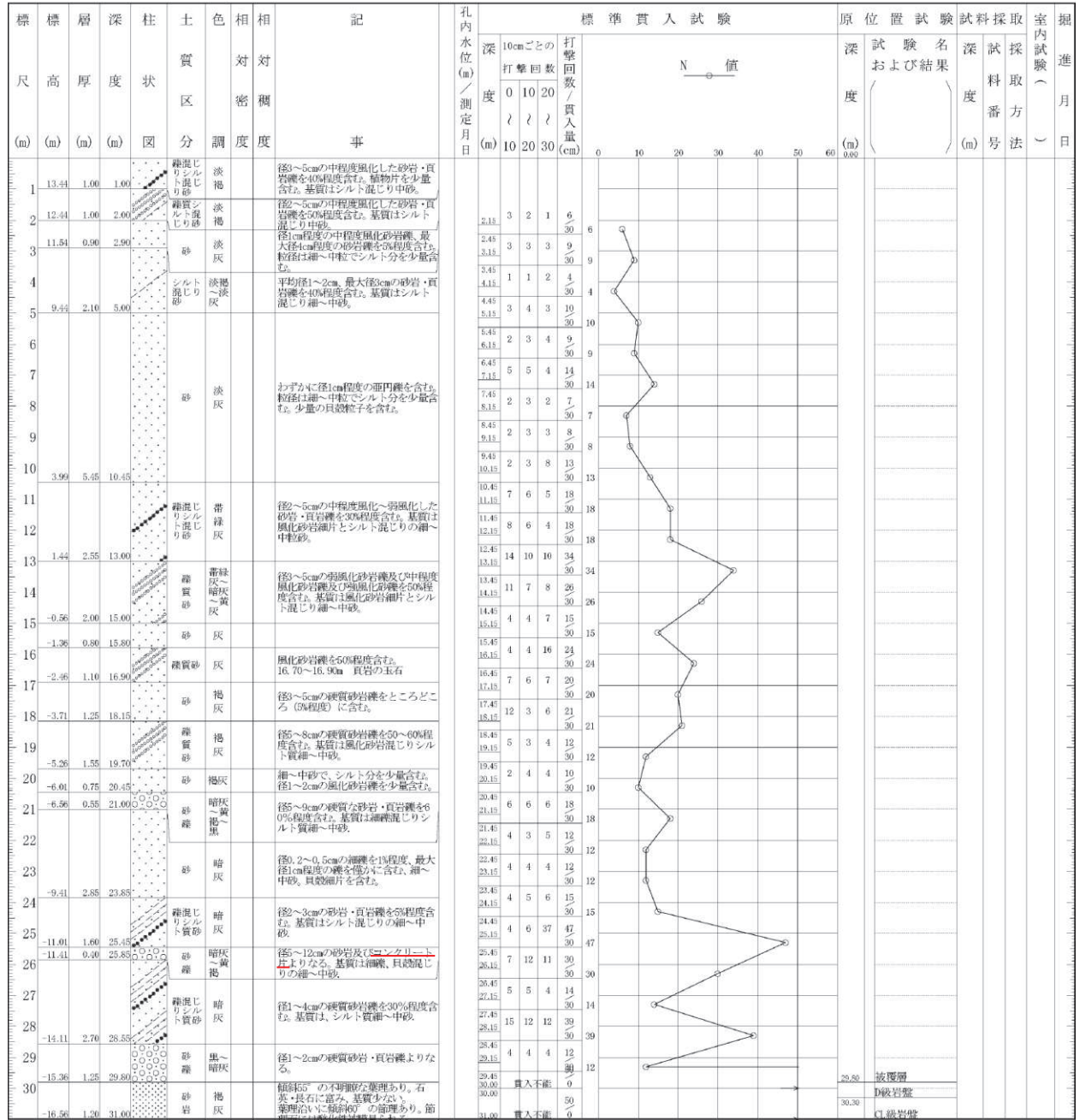


図 1-5(1) ボーリング柱状図 (PB-4) (盛土: 深度 0~29.80m)



図 1-5(2) ボーリングコア写真 (PB-4) (盛土：深度 0～29.80m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂害の程度区分	色調	地層の正逆	観察事項		割の風化 目治区 分け	風化度	コア形状	R Q D N値 コア採取率	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位		
									地質について	割れ目について											
0	0.30	13.41			砕石				0.00~0.30m: 砕石φ1~4cm												
	2.00	11.72			細粒 s 粘粉灰				0.30~2.00m: 砕石+砂質土。 層1~2cmで、角礫状の砂岩と頁岩、 クラックやセラーン。												
	3.55	10.17			砂礫				2.00~3.02m: 頁岩泥じり粗砂+礫。 礫は0.5~3cmの歪角~角礫。量比砂 質礫。新鮮頁岩。礫の混入率は10~ 25%。												
	3.82	9.90			コンクリート				3.55~3.82m: コンクリート。												
	4.90	8.82	砂泥じり礫 (埋戻し土)	3.82m以下: 砂泥じり礫。径φ.5~4 cmの角礫。頁岩主体。 混入率40~50%。	4.90~5.17m: 厚さ0.1~2cmのレン ズ状頁岩片を水平方向に穿れる。	5.17~5.78m: 砂岩の薄層を挟む。	5.78~6.80m: 20°と30°以上の 割れ目で52~20cm次に地層が入る。	6.80~8.20m: 20°~60°の割れ目 が目立つ。	8.20~9.00m: 20°~70°の割れ目 が目立つ。 ひん岩の割れ目は褐色化し、一部 割れ目に沿って軟質化している。	II~I	III	II	I								
5	5.17	8.55		Chf	頁岩	B85 ~90			5.17~5.78m: 厚さ0.1~2cmのレン ズ状頁岩片を水平方向に穿れる。	5.78~6.80m: 20°と30°以上の 割れ目で52~20cm次に地層が入る。	6.80~8.20m: 20°~60°の割れ目 が目立つ。	8.20~9.00m: 20°~70°の割れ目 が目立つ。 ひん岩の割れ目は褐色化し、一部 割れ目に沿って軟質化している。	II~I	III	II	I					
	5.78	7.93			Chf				ひん岩	濃褐色 s 黄灰	5.78~6.80m: 20°と30°以上の 割れ目で52~20cm次に地層が入る。	6.80~8.20m: 20°~60°の割れ目 が目立つ。	8.20~9.00m: 20°~70°の割れ目 が目立つ。 ひん岩の割れ目は褐色化し、一部 割れ目に沿って軟質化している。	II~I	III	II	I				
	9.00	4.72																			

図 1-6(1) ボーリング柱状図 (25BW-1) (盛土: 深度 0~4.90m)



図 1-6(2) ボーリングコア写真 (25BW-1) (盛土：深度 0～4.90m)

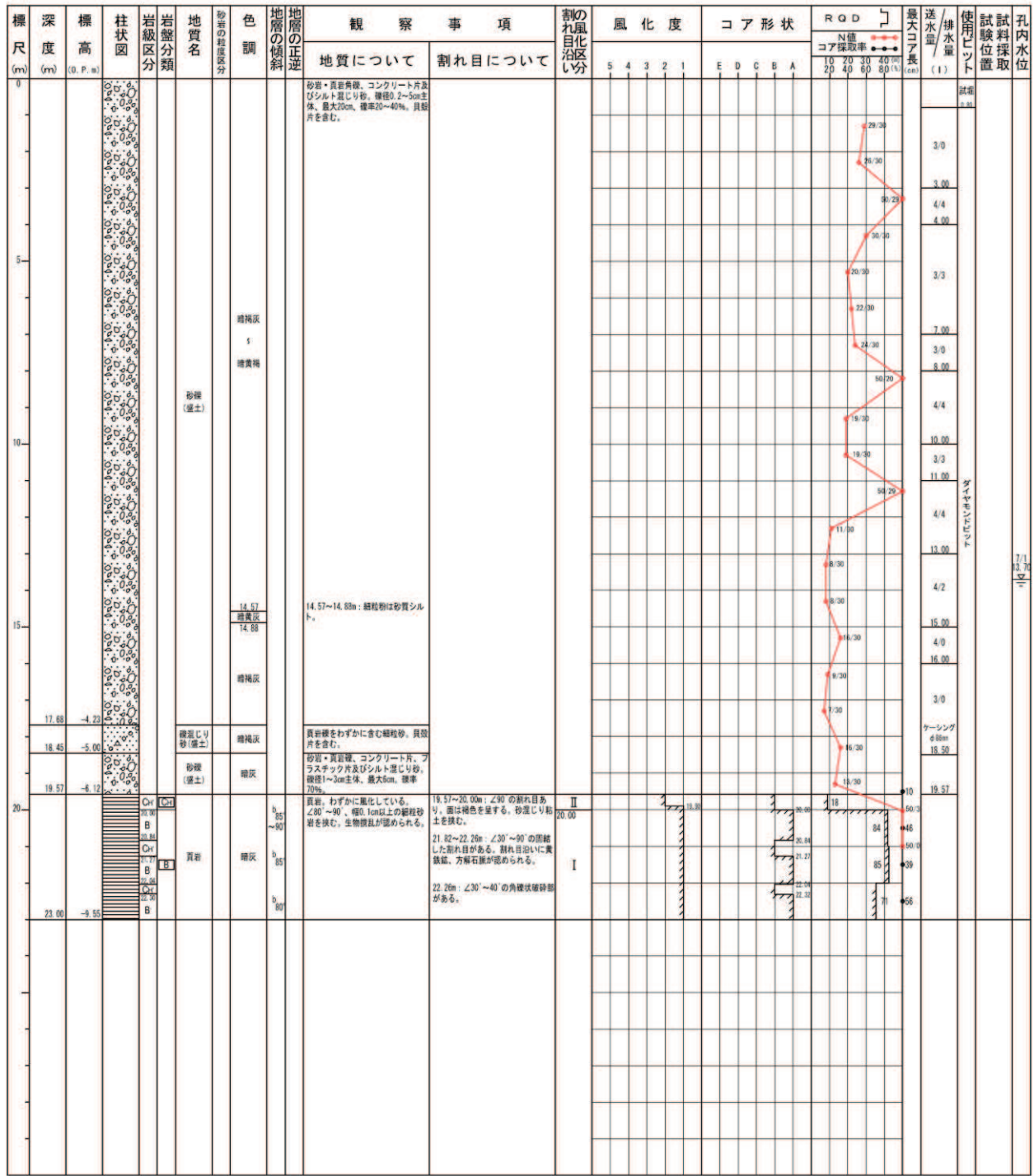


図1-7(1) ボーリング柱状図 (25BW-4) (盛土: 深度0~19.57m)



図 1-7(2) ボーリングコア写真 (25BW-4) (盛土: 深度 0~19.57m)



図 1-8(2) ボーリングコア写真 (25BW-5) (盛土: 深度 0~18.20m)

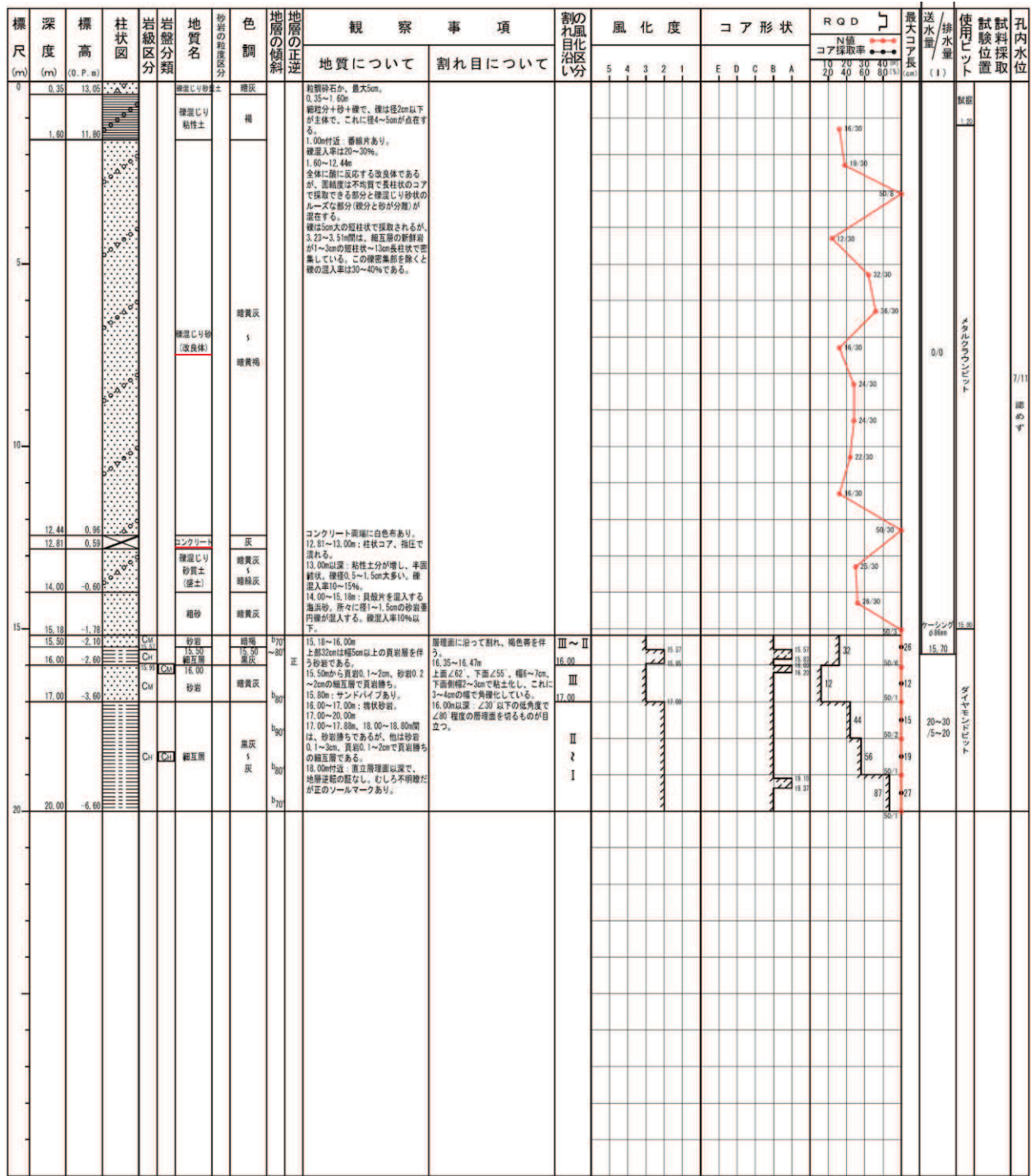


図 1-9(1) ボーリング柱状図 (25BW-6) (盛土：深度 0~14.00m, 旧表土：深度 14.00~15.18m)

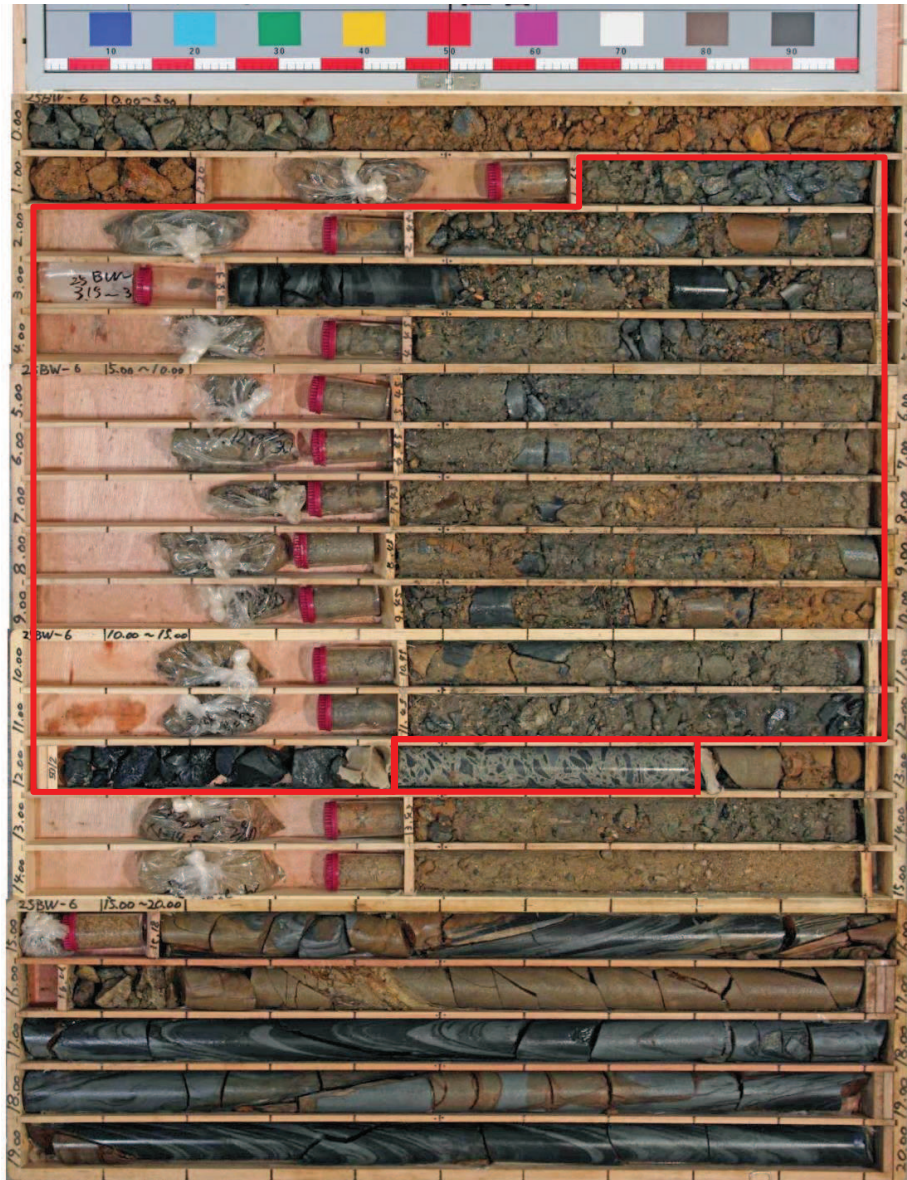


図 1-9(2) ボーリングコア写真 (25BW-6)
(盛土：深度 0~14.00m, 旧表土：深度 14.00~15.18m)

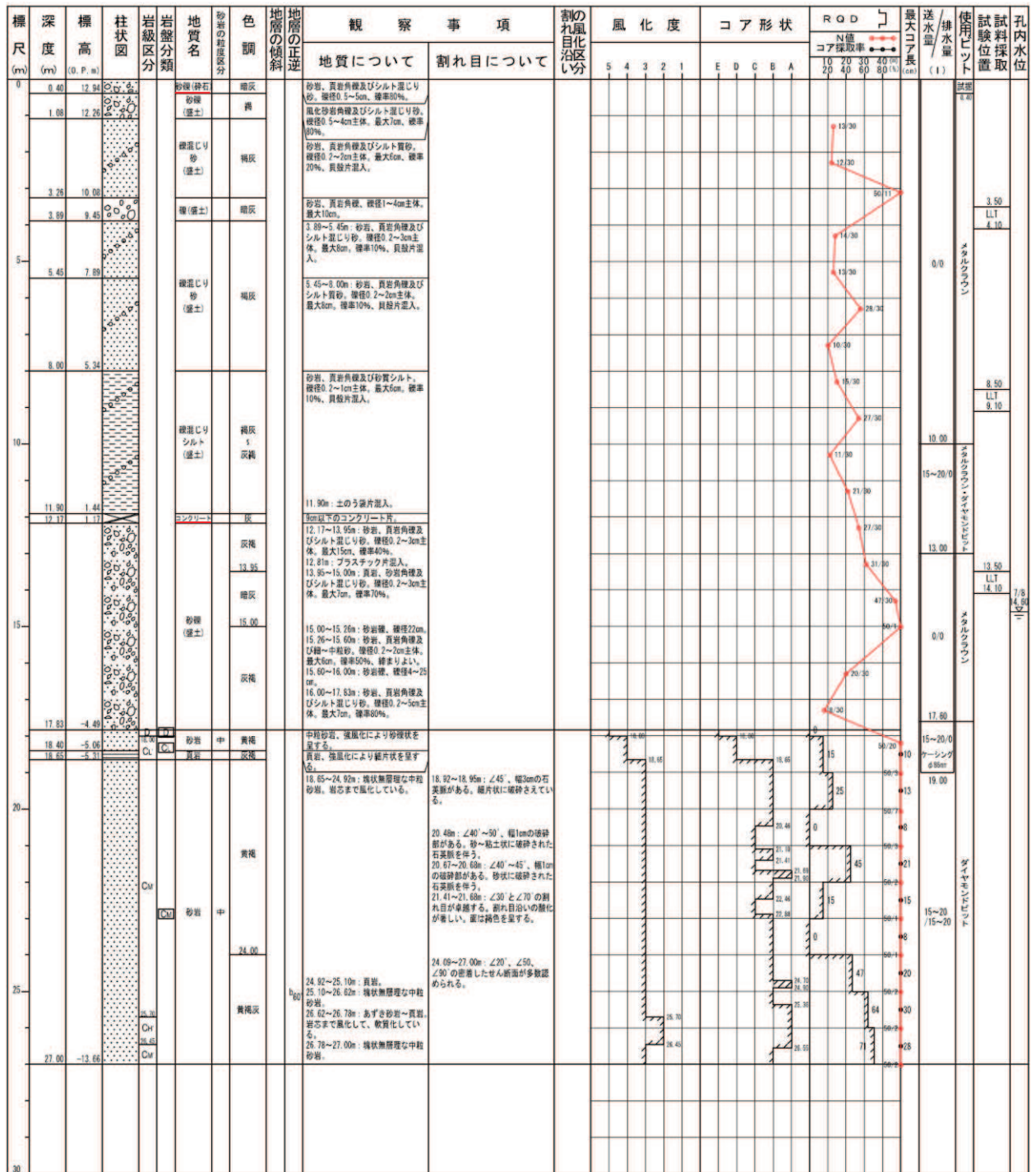


図 1-10(1) ボーリング柱状図 (25BW-7) (盛土: 深度 0~17.83m)



図 1-10(2) ボーリングコア写真 (25BW-7) (盛土：深度 0～17.83m)

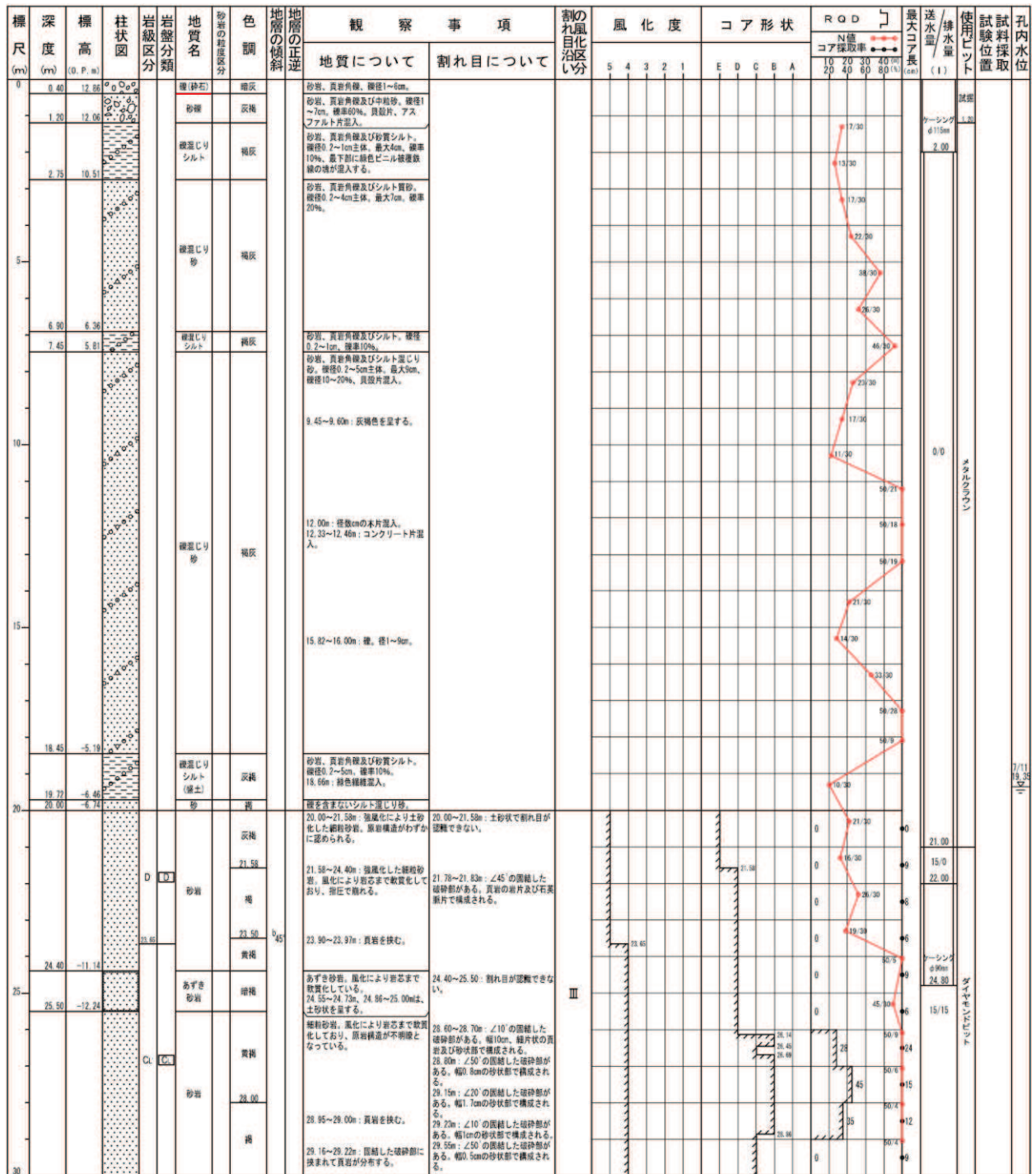


図 1-11(1) ボーリング柱状図 (25BW-8) (盛土: 深度 0~19.72m, 旧表土: 深度 19.72~20.00m)



図 1-11(2) ボーリングコア写真 (25BW-8)
(盛土：深度 0～19.72m, 旧表土：深度 19.72～20.00m)

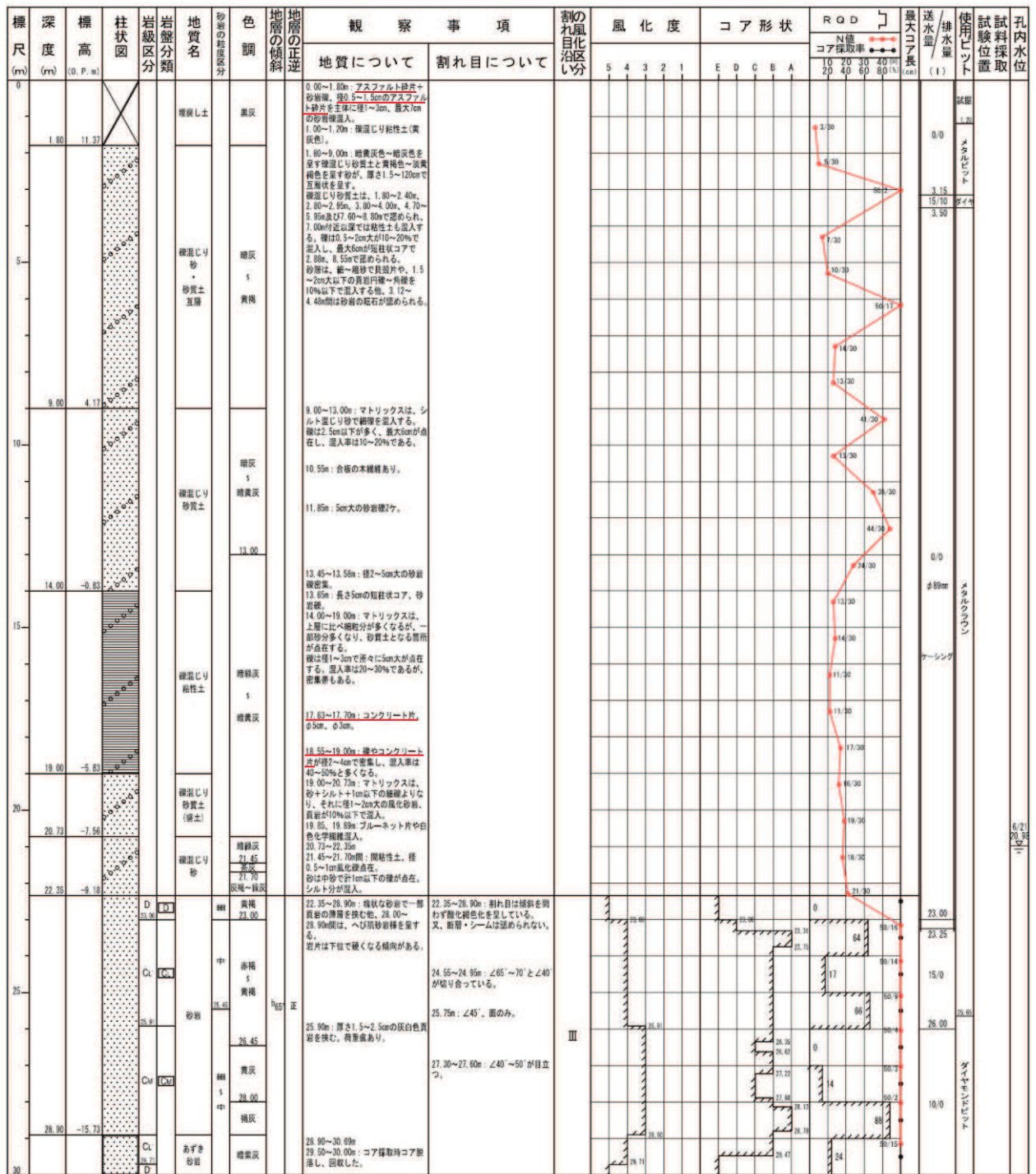


図 1-12(1) ボーリング柱状図 (25BW-9) (盛土: 深度 0~20.73m, 旧表土: 深度 20.73~22.35m)



図 1-12(2) ボーリングコア写真 (25BW-9)
 (盛土 : 深度 0~20.73m, 旧表土 : 深度 20.73~22.35m)

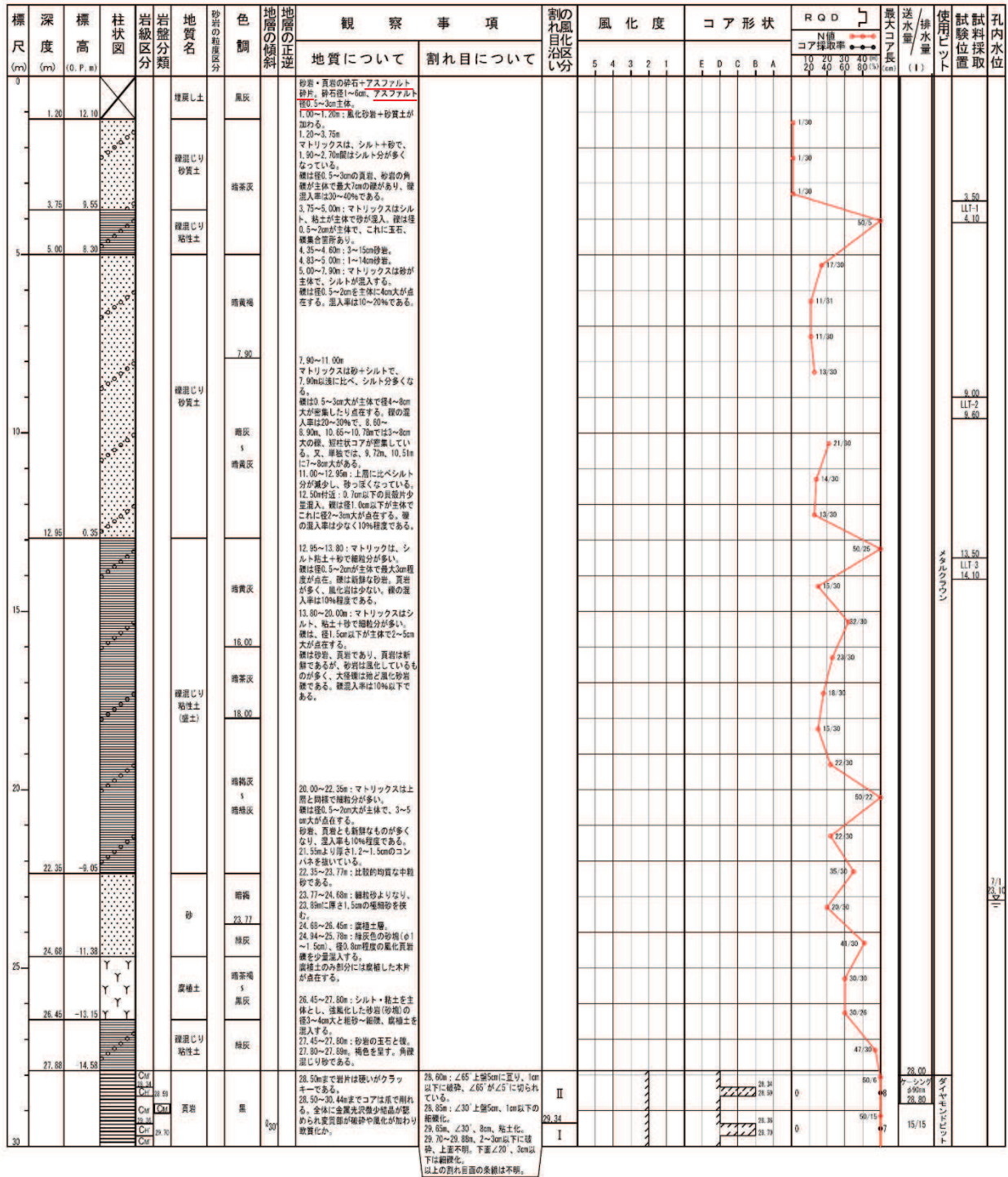


図 1-13(1) ボーリング柱状図 (25BW-10)
(盛土: 深度 0~22.35m, 旧表土: 深度 22.35~27.88m)



図 1-13(2) ボーリングコア写真 (25BW-10)
 (盛土：深度 0～22.35m, 旧表土：深度 22.35～27.88m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (0. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂岩の粒徑区分	色調	地層の正逆	観察事項		割の風化度 割れ目治区	風化度	コア形状	R Q D N値 コア採取率	最大コア長 (m)	排水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位	
									地質について	割れ目について										
0					埋戻し土		黒灰		0.00~1.35m: φ0.5~3.5cmのアスファルト粒状、砂岩、頁岩類、最大7cm.											
	1.35	11.92			埋戻し土		埋戻し土		1.35~4.00m: マトリックスはシルト+砂、礫は径1~2cmの新鮮頁岩の角礫が多く、5.45mには、6cm大の風化砂岩、粘土塊がある。埋入率は10%程度と少ない。											
					埋戻し土		埋戻し土		4.00~10.61m: マトリックスは、砂+シルト+粘土で礫は径5~2.5cmの風化砂岩が多く、SPでは礫を抜いて貫入している。											
					埋戻し土		埋戻し土		7.65m: 径6cm大の新鮮な砂岩がある。又、礫の少ない部分では、粘土分が多く、10cm大で所々に認められる。埋入率は10%程度と少ない。											
					埋戻し土		埋戻し土		10.61~10.80m: 暗褐色、明灰色を呈す粘性土を挟む。											
					埋戻し土		埋戻し土		11.29~14.54m: マトリックスは、細砂+細礫で頁岩片を多量に混入する。礫は径0.5~2cm大の砂岩、頁岩を主体とし、これに径1~7cm大の角石、砂岩の玉石、磁石「コンクリート塊」を混入する。											
					埋戻し土		埋戻し土		11.29~11.53m: 埋戻し土											
					埋戻し土		埋戻し土		11.53~11.64m: 砂岩											
					埋戻し土		埋戻し土		12.00~12.13m: コンクリート片											
					埋戻し土		埋戻し土		12.29~12.50m: 砂岩											
					埋戻し土		埋戻し土		12.50~13.63m: コンクリート塊											
					埋戻し土		埋戻し土		全体での埋入率は40~50%である。											
					埋戻し土		埋戻し土		14.54~19.96m: マトリックスは、砂を混入するシルト質土である。											
					埋戻し土		埋戻し土		礫は径0.5~2cmが主体で最大3cmを所々混入。											
					埋戻し土		埋戻し土		礫は風化砂岩、新鮮な頁岩・砂岩である。埋入率は、14.54~18.00m、18.50~19.96m間で20~30%と多いが、それ以外では10~20%と少なく、マトリックス部が10~15cmで礫を含まない部分と互層状に入っている所もある。											
					埋戻し土		埋戻し土		19.96~22.00m: 中砂主体で上部に粗砂を混入する。											
					埋戻し土		埋戻し土		22.00~24.20m: 細砂~中砂で、上部にシルト分を他と比べ多く含む。											
					埋戻し土		埋戻し土		24.20m~											
					埋戻し土		埋戻し土		埋戻し土で中砂を混入する。ルーズで24.45~25.00m間、コア採取時落下、回収。											
					埋戻し土		埋戻し土		25.25~26.74m: 所々に緑灰色粘土層を挟む。											
					埋戻し土		埋戻し土		25.45~24.50m: 径1~2cm、最大7cmの砂岩埋入。											
					埋戻し土		埋戻し土		26.64m: 0.5~0.8cm大の礫の配列が次第である。											
					埋戻し土		埋戻し土		26.74~27.40m: 径0.5~3cm、最大5cmの砂岩を40~50%で混入する。											
					埋戻し土		埋戻し土		27.40m: シルト、粘土分を混入し砂分少ない。礫の径、量とも上部と異なる。											
					埋戻し土		埋戻し土		29.60m: やや黄褐色塊状砂岩で新鮮で硬い。											
					埋戻し土		埋戻し土		割れ目は褐色化を伴い、 $\angle 10 \sim 20$ が目立つ。											
					埋戻し土		埋戻し土		29.04~29.63m: 低角度割れ目でコアは $5 \sim 7$ cmの短柱状を呈す。											

図 1-14(1) ボーリング柱状図 (25BW-11)

(盛土: 深度 0~19.96m, 旧表土: 深度 19.96~28.63m)

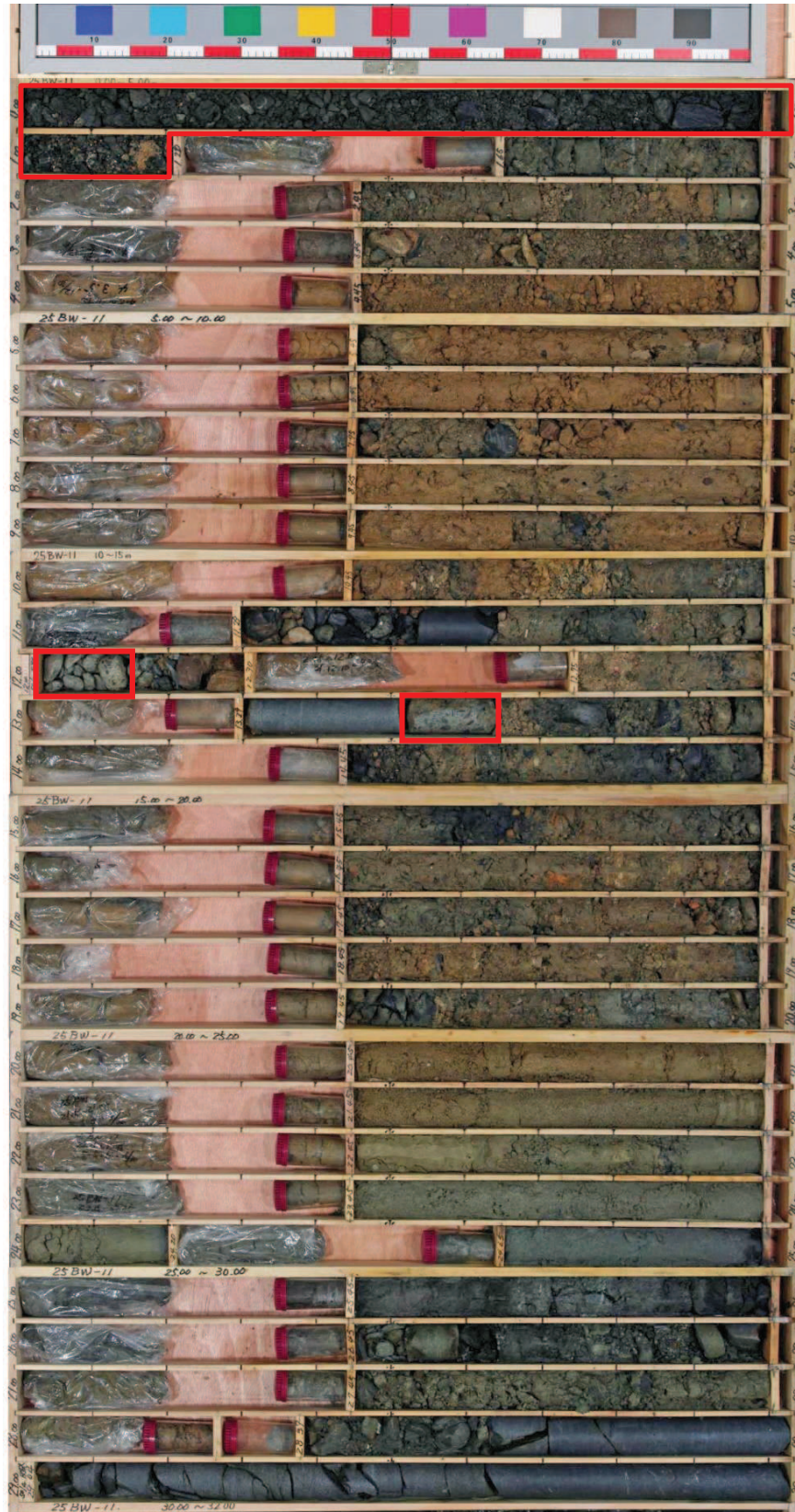


図 1-14(2) ボーリングコア写真 (25BW-11)
 (盛土 : 深度 0~19.96m, 旧表土 : 深度 19.96~28.63m)

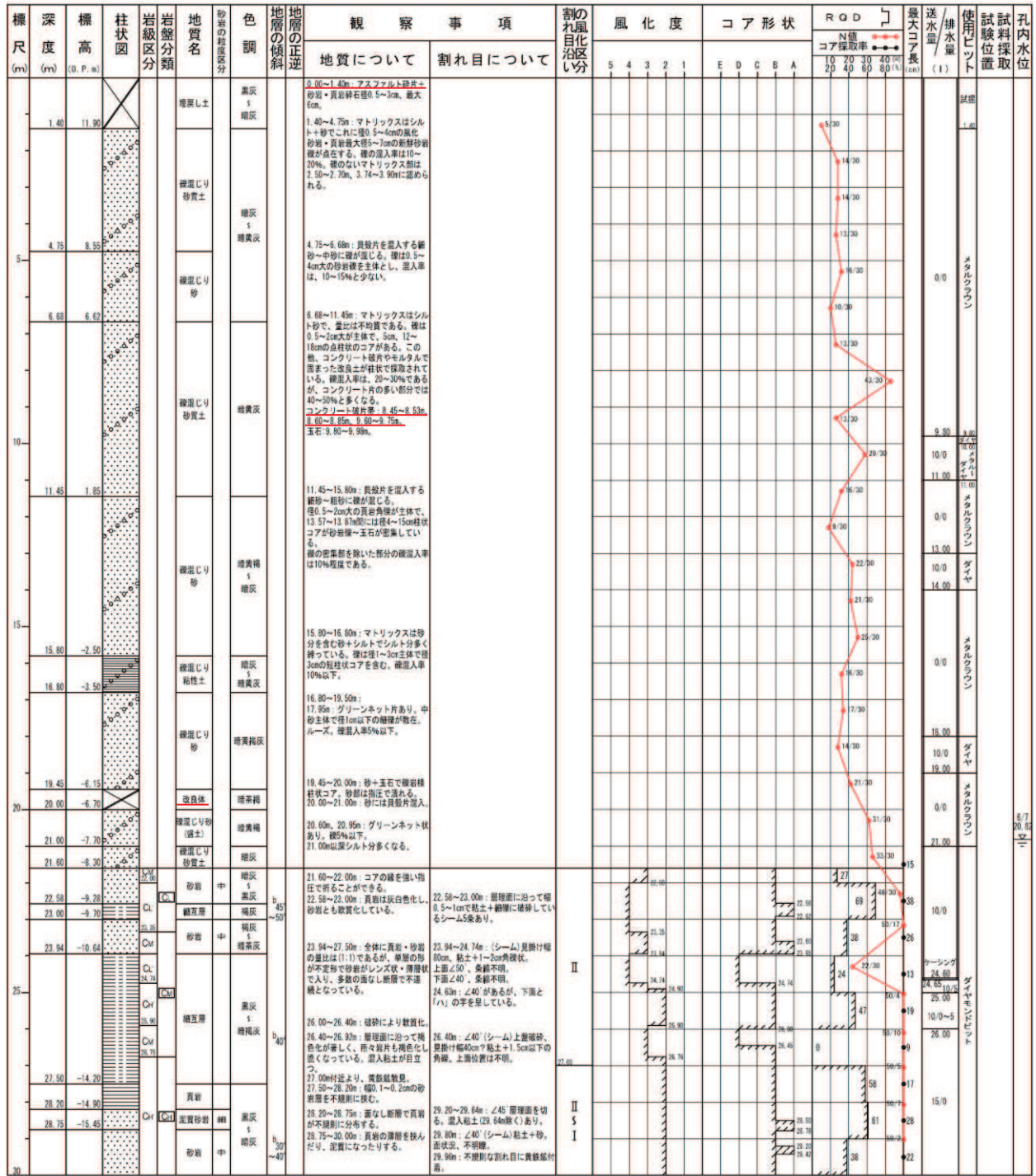


図 1-15(1) ボーリング柱状図 (25BW-12)

(盛土: 深度 0~21.00m, 旧表土: 深度 21.00~21.60m)



図 1-15(2) ボーリングコア写真 (25BW-12)
 (盛土：深度 0～21.00m, 旧表土：深度 21.00～21.60m)

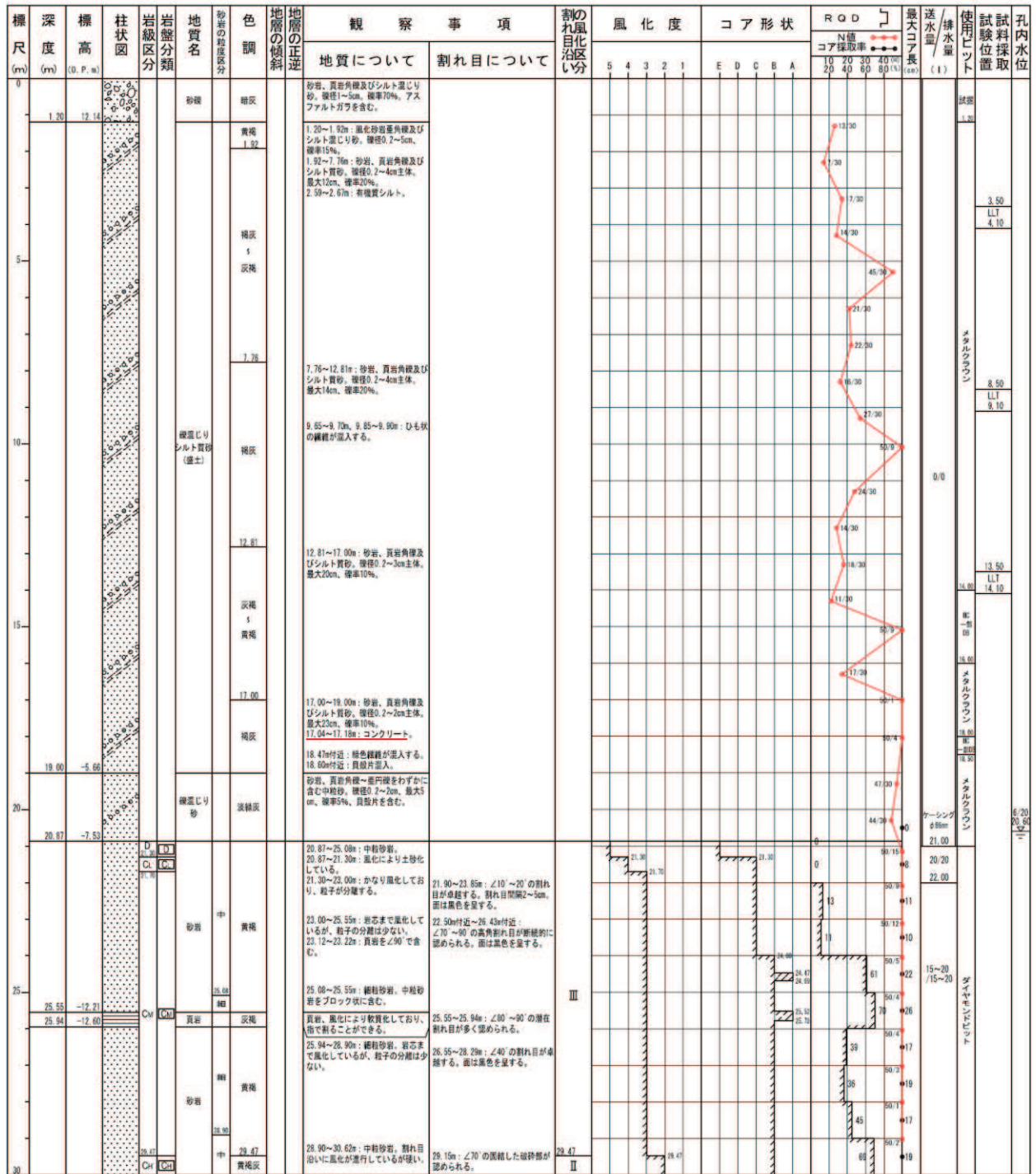


図 1-16(1) ボーリング柱状図 (25BW-13)
(盛土: 深度 0~19.00m, 旧表土: 深度 19.00~20.87m)

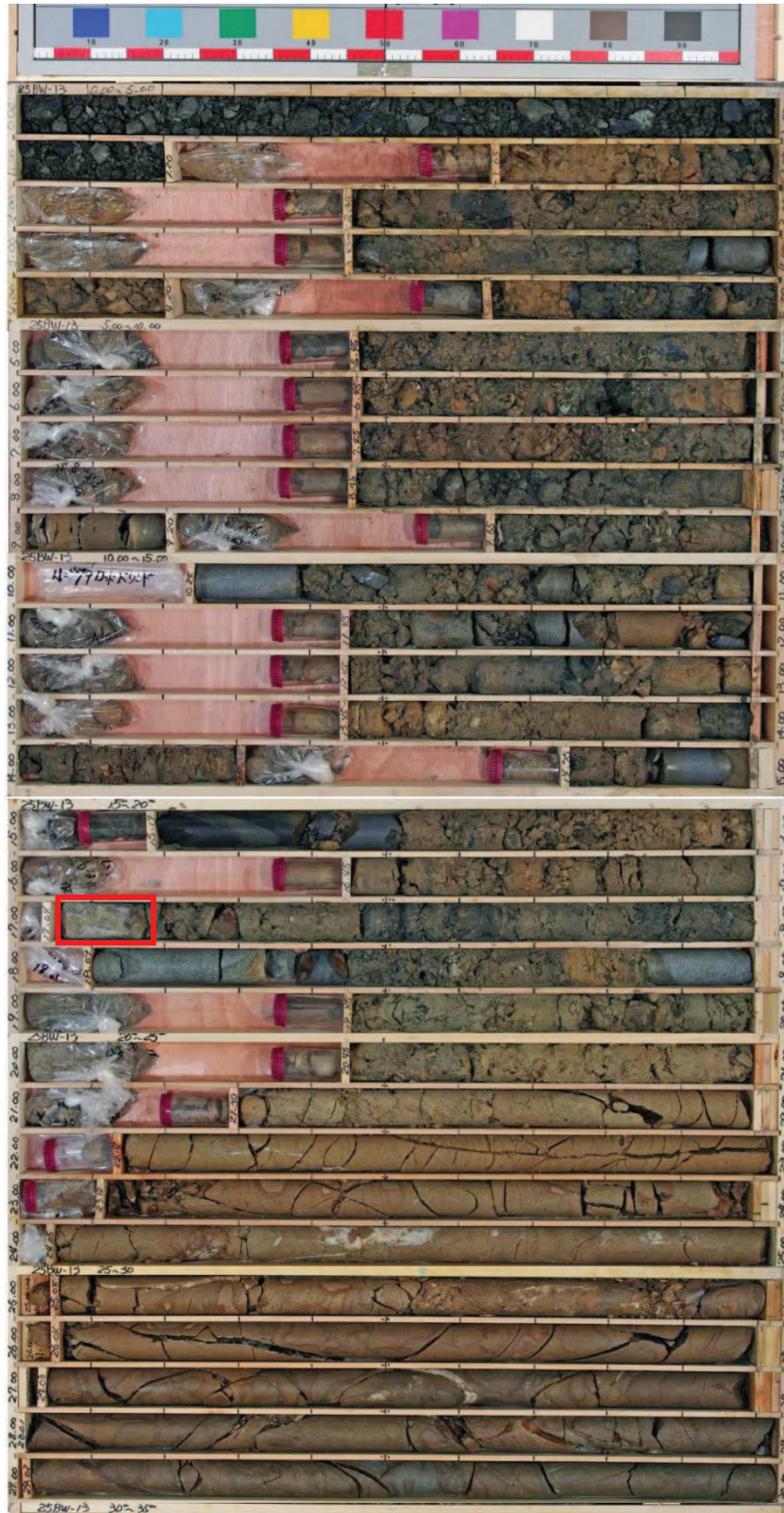


図 1-16(2) ボーリングコア写真 (25BW-13)
(盛土 : 深度 0~19.00m, 旧表土 : 深度 19.00~20.87m)

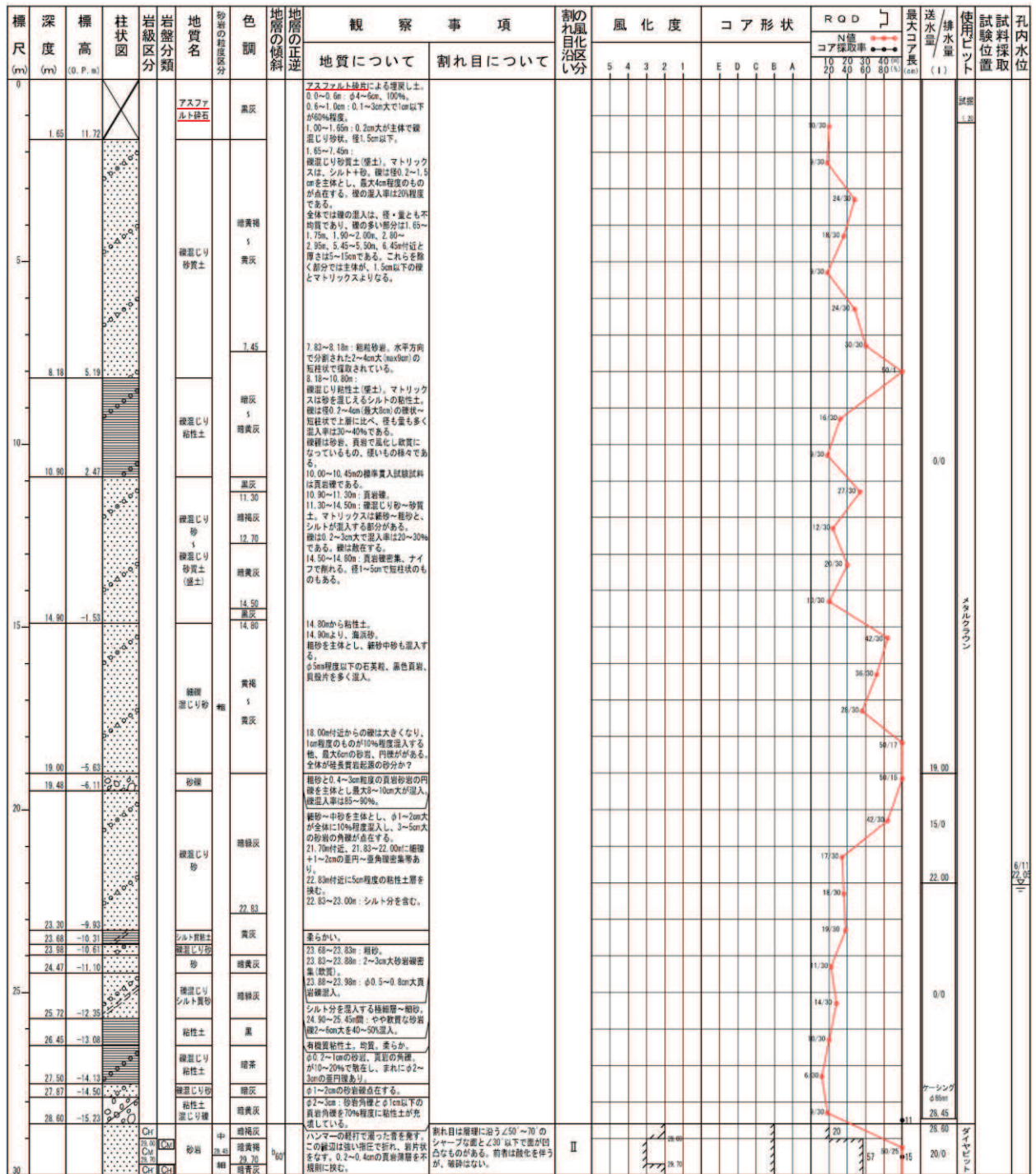


図 1-17(1) ボーリング柱状図 (25BW-14)

(盛土: 深度 0~14.90m, 旧表土: 深度 14.90~28.60m)

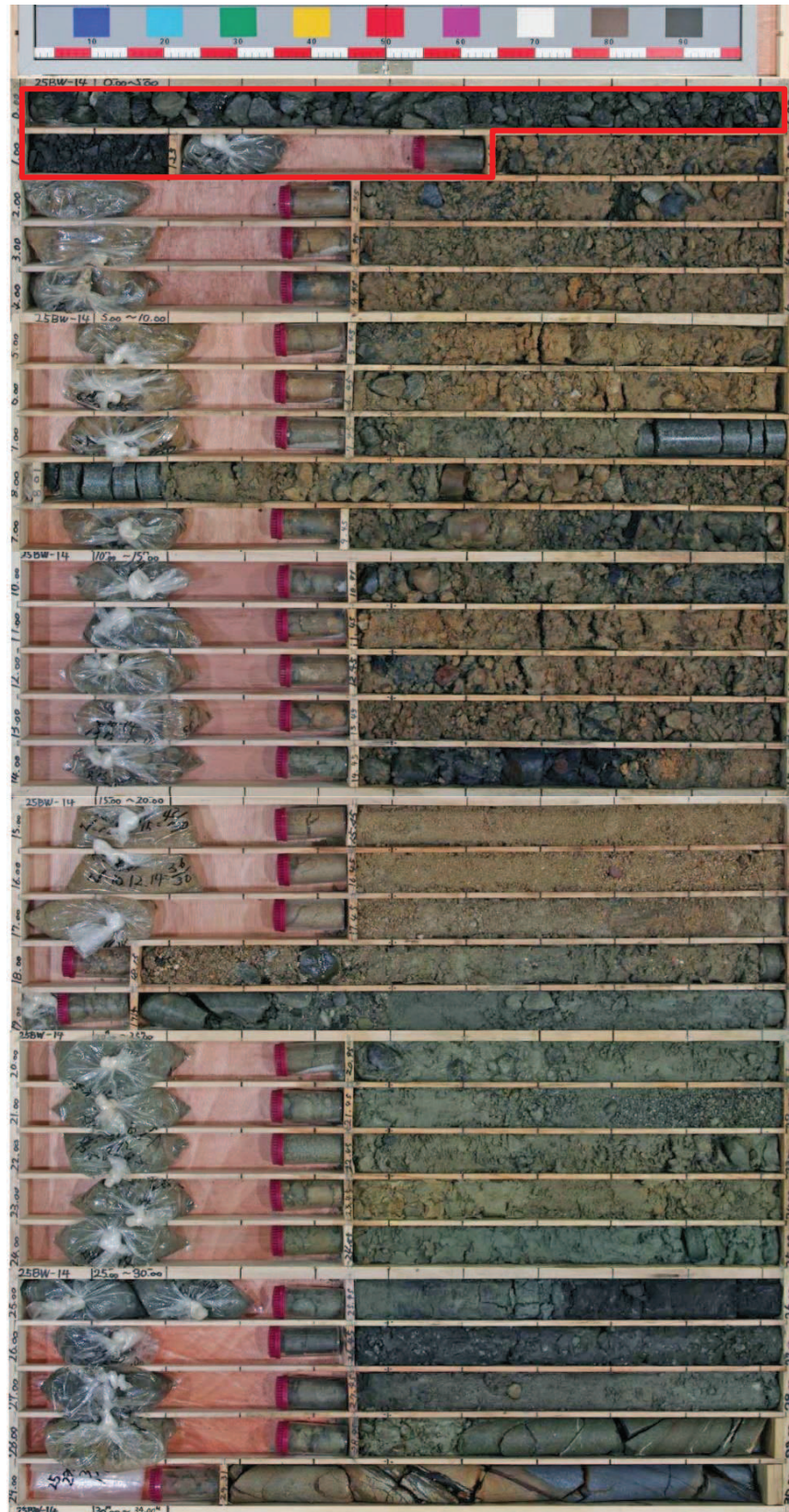


図 1-17(2) ボーリングコア写真 (25BW-14)
 (盛土：深度 0～14.90m, 旧表土：深度 14.90～28.60m)

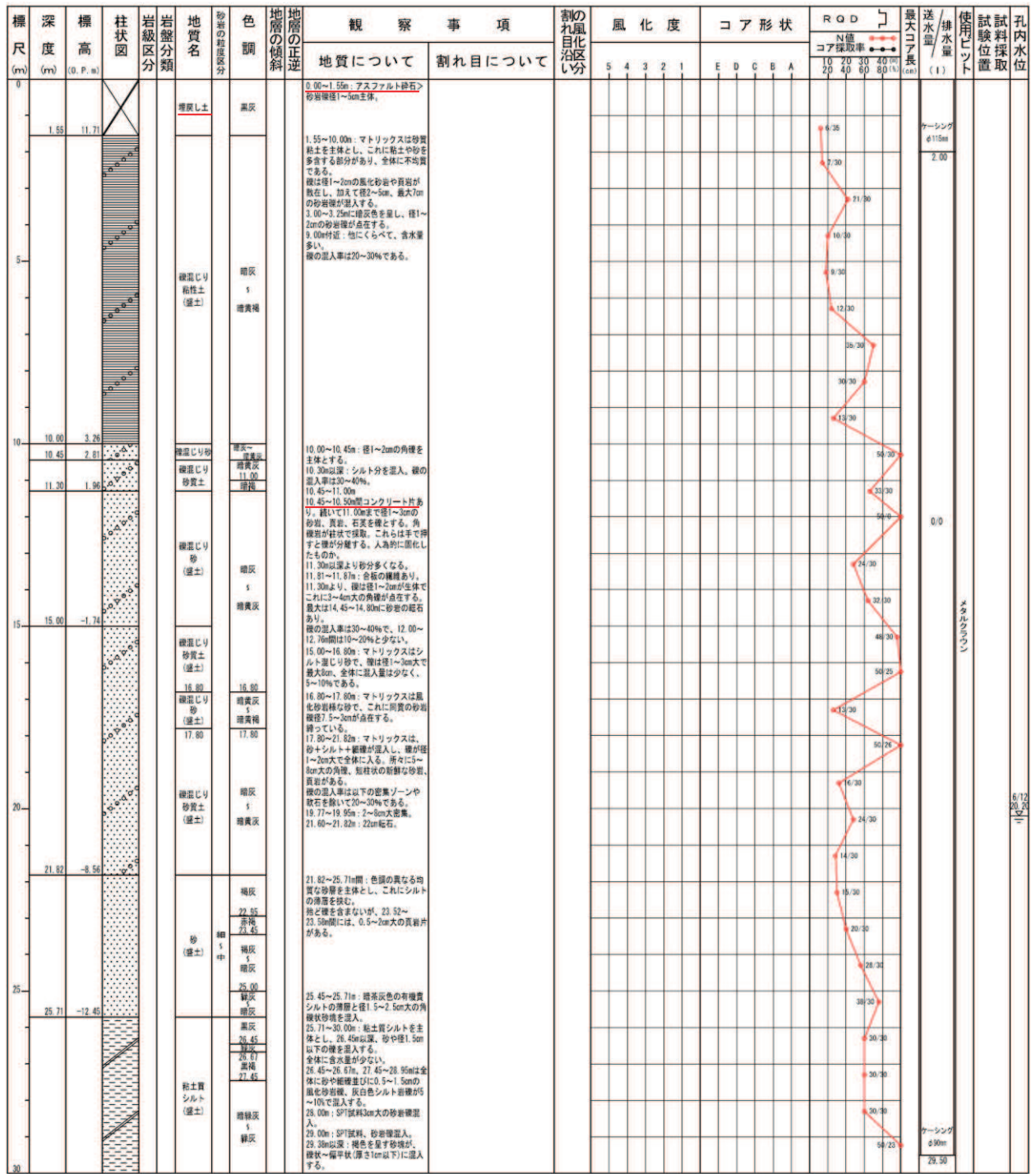


図 1-18(1) ボーリング柱状図 (25BW-15) (盛土: 深度 0~30.00m)



図 1-18(2) ボーリングコア写真 (25BW-15) (盛土：深度 0～30.00m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O.P.m)	柱状図	岩盤区分	岩盤分類	地質名	砂岩の粒度区分	色調	地層の傾斜	観察事項		割れ目自治区分	風化度	コア形状	RQD	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位
										地質について	割れ目について									
	1.65	11.65			埋戻し土	埋戻し土				0.00~1.65m: アスファルト汚染及び砂岩角礫主体、径0.5~4cm主体、最大5cm、細粒分は中~粗粒砂、礫率50%。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				1.65~4.95m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~5cm主体、最大5cm、礫率10%、粘性あり。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				4.95~6.50m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~5cm、礫率15%。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				6.50~7.00m: 頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~2.5cm、礫率5%、粘性あり。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				7.00~7.43m: 頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.2~3cm、礫率15%、粘性強い。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				7.43~8.30m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~2cm主体、最大7cm、礫率10%、粘性あり。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				8.30~10.47m: 砂岩・頁岩角礫及びシルト質中粒砂、粒径0.5~5cm主体、最大5cm、礫率30%、粘性低い。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				10.47~13.45m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~5cm、礫率10%、頁岩を多く含む、粘性強い。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				13.45~18.45m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~4cm主体、最大7cm、礫率15~20%、頁岩を含む、粘性あり。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				18.45~20.74m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~5cm主体、最大7cm、礫率20%、頁岩を少量含む、粘性低い。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				20.74~23.00m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~6cm、礫率10%、粘性あり。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				23.00~24.70m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.5~4cm、礫率20%、粘性低い。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				24.70~27.88m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂、粒径0.2~3cm主体、最大10cm、礫率10~15%、粘性あり。										
					埋戻し中粒砂	埋戻し中粒砂				27.88~30.00m: 砂岩・頁岩角礫及びシルト質中粒砂、粒径0.2~6cm、礫率40~50%、粘性強い。										

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O.P.m)	柱状図	岩盤区分	岩盤分類	地質名	砂岩の粒度区分	色調	地層の傾斜	観察事項		割れ目自治区分	風化度	コア形状	RQD	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位
										地質について	割れ目について									
	31.05	-17.20			砂礫 (盛土)	砂礫				30.00~30.05m: 砂岩・頁岩角礫及びシルト質中粒砂、粒径0.5~5cm主体、最大3cm、礫率50%、粘性強い。	31.52~32.61m: $\angle 30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ の割れ目。面は赤褐色に酸化している。									
					砂礫 (盛土)	砂礫				30.88~31.05m: 細粒分は黄褐色砂質シルト。	32.91~34.49m: $\angle 30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ の割れ目主体。面は黒色を呈する。									

(深度 33m 以深には岩盤が連続しており、ここではこの区間の柱状図とコア写真を割愛)

図 1-19(1) ボーリング柱状図 (25BW-16) (盛土: 深度 0~31.05m)



図 1-19(2) ボーリングコア写真 (25BW-16) (盛土：深度 0～31.05m)

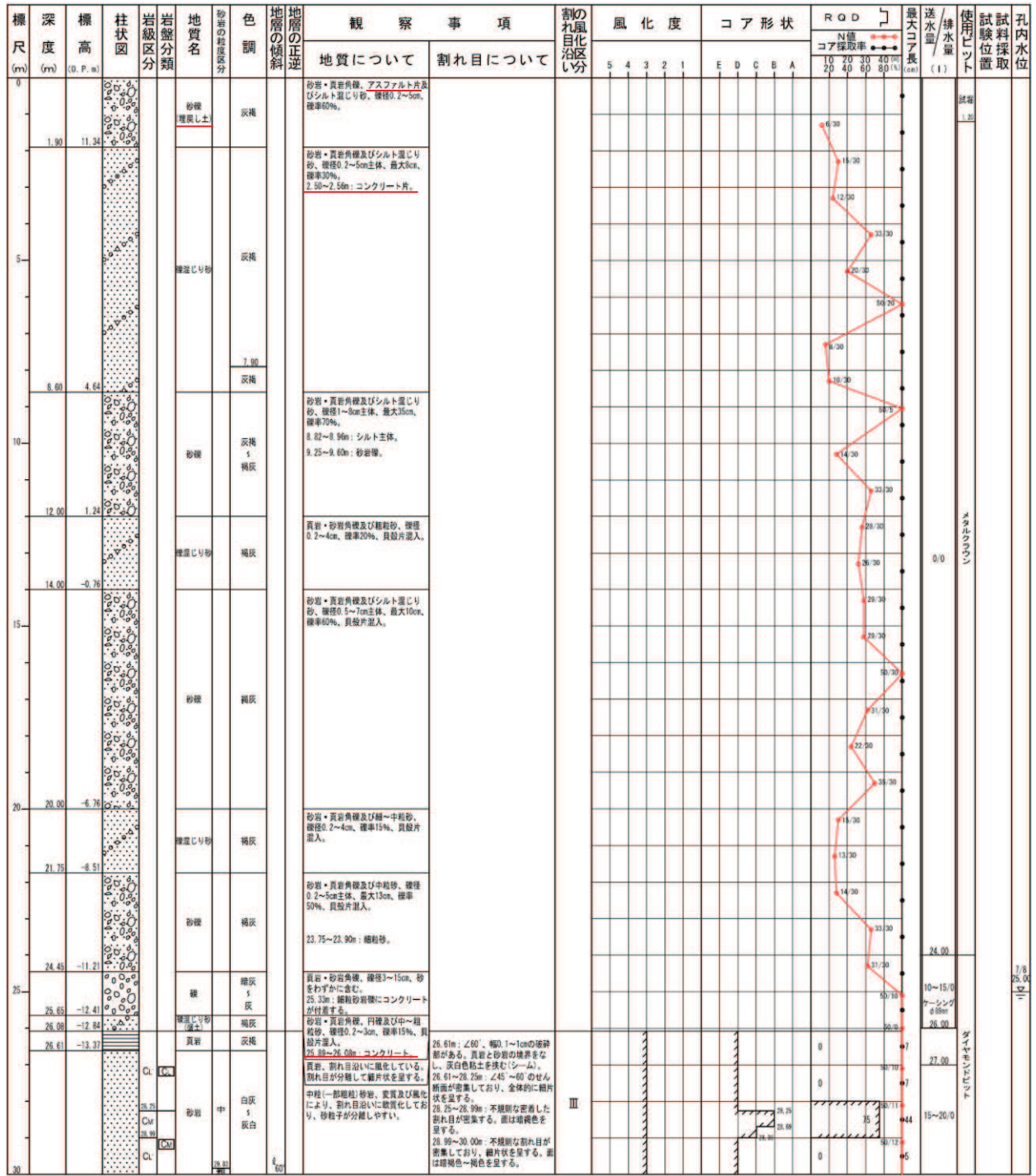


図 1-20(1) ボーリング柱状図 (25BW-17) (盛土: 深度 0~26.08m)



図 1-20(2) ボーリングコア写真 (25BW-17) (盛土：深度 0～26.08m)

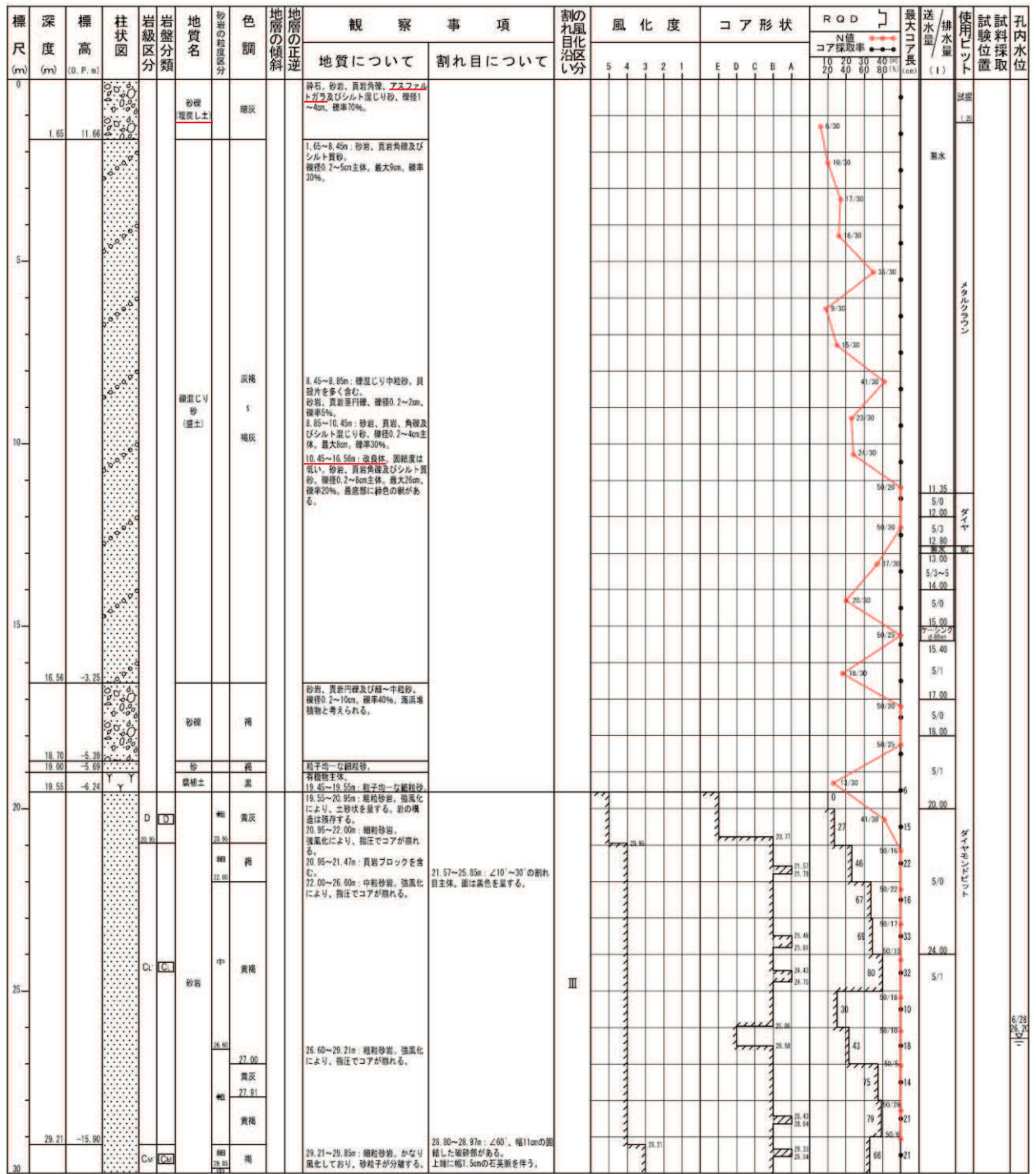


図 1-21(1) ボーリング柱状図 (25BW-18)

(盛土：深度 0~16.56m, 旧表土：深度 16.56~19.55m)



図 1-21(2) ボーリングコア写真 (25BW-18)
 (盛土 : 深度 0~16.56m, 旧表土 : 深度 16.56~19.55m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (0. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂害の程度区分	色調	地層の傾斜	観察事項		割れ目風化区分	風化度	コア形状	R Q D	最大コア長 (cm)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位							
									地質について	割れ目について																
0	0.35	12.87			埋戻し土		黒灰		0.0~0.15m: 砕石、径1~3cm 0.15~0.30m: アスファルト砕片層 0.30~1.50m: 0.35~3.60m: マトリックスは砂+シルトで全体に砂が多いが、シルト分の多い箇所もある。粒径は、径0.5~2mmが主体で、径5~9mmが存在する。2.00~3.60mに長さ3~5cmの砂岩片~長柱状コアあり。破の混入率は20~30%である。 3.62~8.25m: マトリックスはシルトを主体として砂+粘土が混入する。破は、砂岩・頁岩の風化産物が多い。径0.5~2.5mmが主体で径5~50mmが5.00m付近に認められる。破の混入率は10~20%である。 6.25~7.80m: 径0.2~2.50m、最大30mの柱状コアで断続的な頁岩・砂岩と、風化砂岩よりなる砂にシルト分が混入。径0.6~6.73m、6.00~6.93m、7.45~11.50mは頁岩を主体で構成している。破の混入率は20~30%である。 7.80~8.54m: 径0.5~1.50mの頁岩・砂岩が主体で混入率は10%程度である。 8.54~8.74m: 砂粒径0.2~1.50mの頁岩+砂岩層に最大40mの砂岩層30mの頁岩ラ片あり。マトリックスは砂+シルト+粘土であるが、径0.74m以上はシルト分が多い。 8.00~9.10m: 埋+土のラ片。 9.10~9.20m: コンクリート片あり 9.54m以上: 破の混入率は10~20%である。 9.80~15.20m: マトリックスは細粒分を混入する中砂~細砂で、これに径0.2~2.50mmの砂岩・頁岩層を主体とし、径3~7cmの風化砂岩・頁岩・新鮮な砂岩が混入する。10~180cmの寸も認められる。又、12.75~13.80mには所々粘土塊が1~3cmで認められる。破の混入率は30~40%である。立石は10.85mにφ13cm、13.85mにφ10cm、14.00mにφ10cmがある。 14.80~15.00m: 鋼筋の無いコンクリート塊。埋戻し砂質土状。 15.20~16.45m: 砂。 16.45~16.90m: 砂質粘土。埋戻し土。																	
5	6.25	6.97			埋戻し土		黒灰																			
10	9.80	3.42			埋戻し土		黒灰																			
15	15.20	-1.98			粘土混じり砂礫(盛土)		黒灰																			
16.45	-3.23				砂		黒灰																			
16.90	-3.68				砂質粘土		黒灰																			
20	20.00				淡黄灰		淡黄灰																			
25	25.70	-12.48			砂岩		黒灰																			
27.13	-13.91				砂岩		黒灰																			
28.45	-15.23				砂岩		黒灰																			
30					砂岩		黒灰																			

図 1-22(1) ボーリング柱状図 (25BW-19)

(盛土: 深度 0~15.20m, 旧表土: 深度 15.20~16.90m)

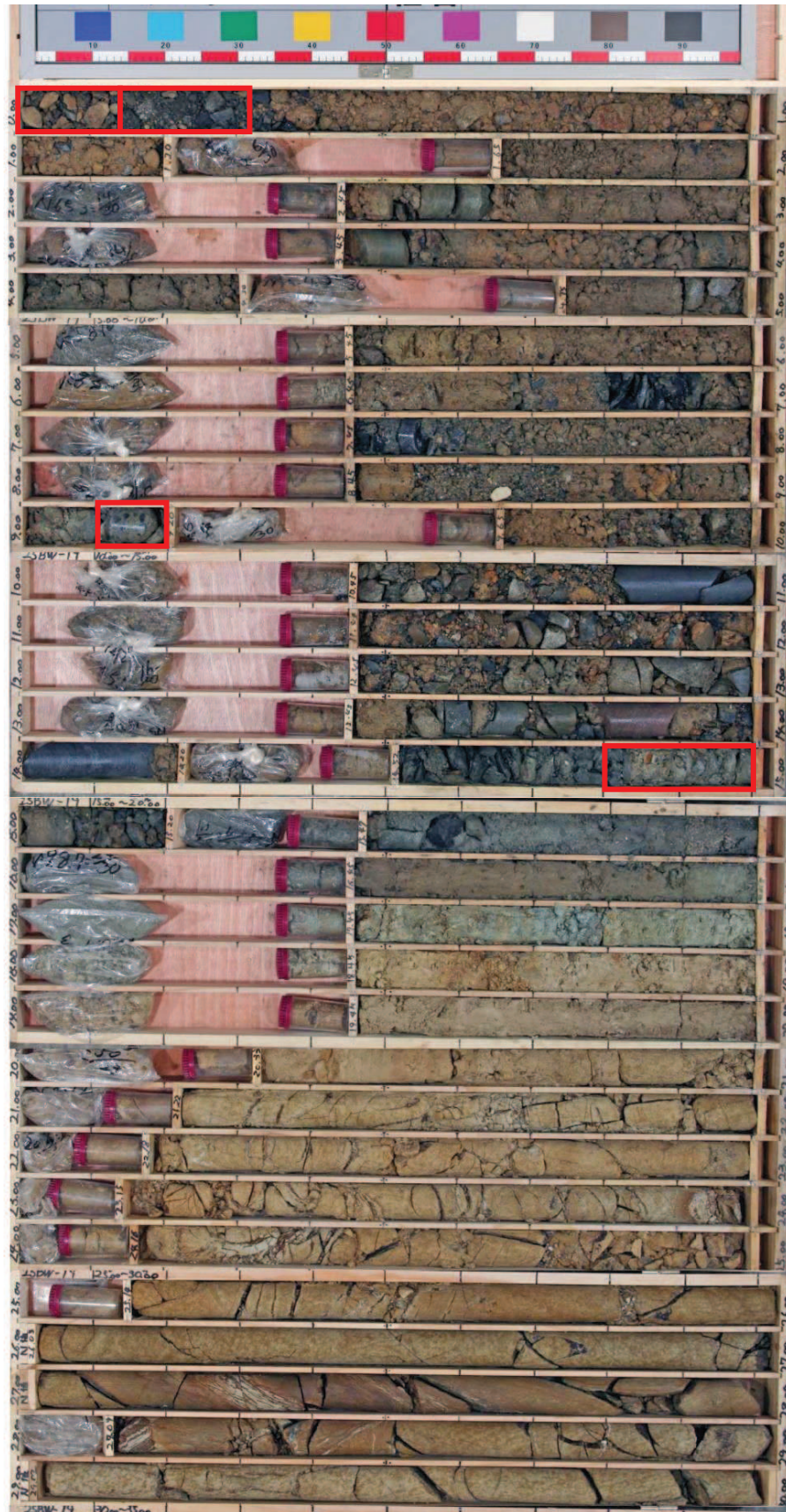


図 1-22(2) ボーリングコア写真 (25BW-19)
 (盛土：深度 0～15.20m, 旧表土：深度 15.20～16.90m)

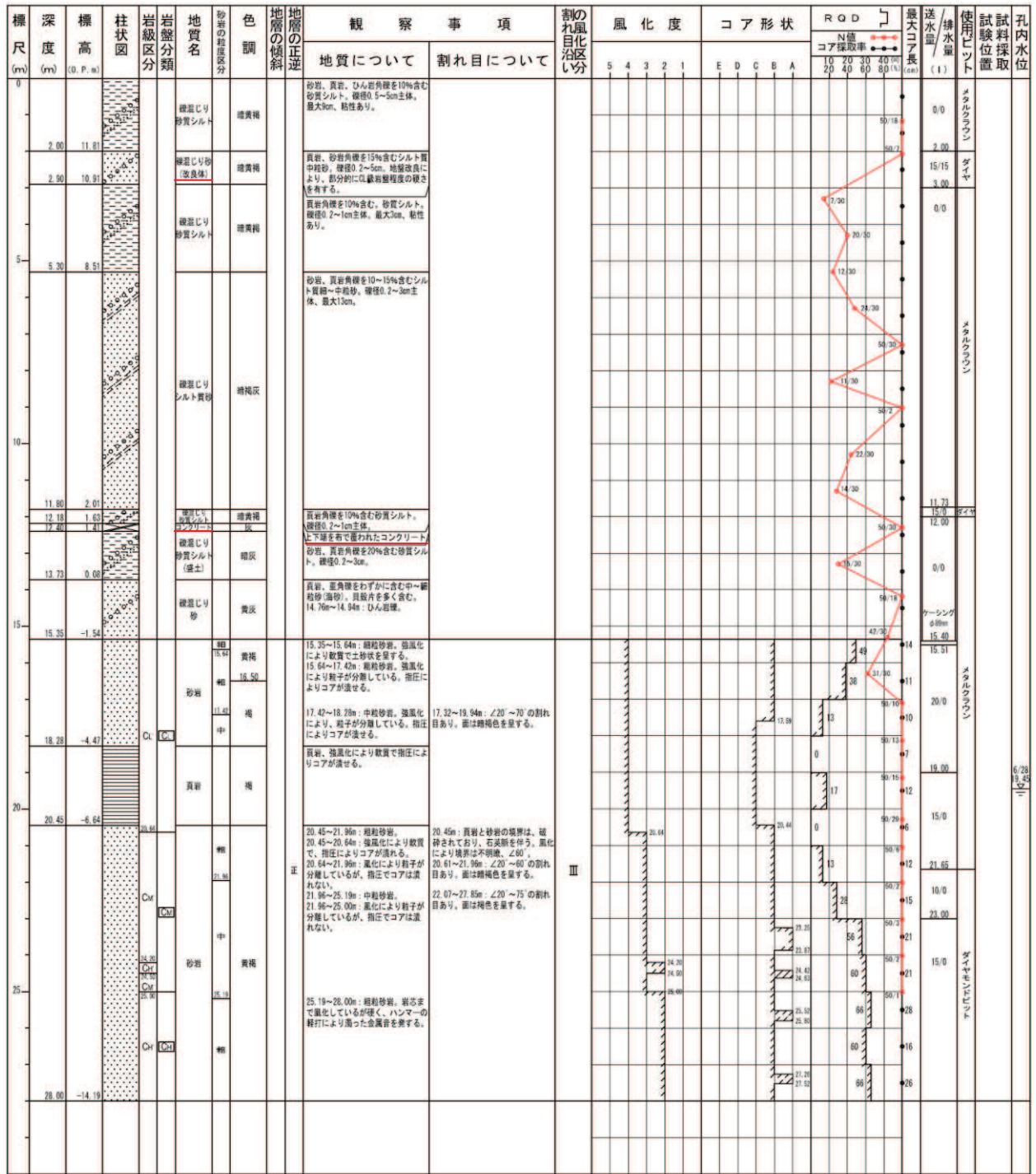


図 1-23(1) ボーリング柱状図 (25BW-20)
(盛土: 深度 0~13.73m, 旧表土: 深度 13.73~15.35m)



図 1-23(2) ボーリングコア写真 (25BW-20)
 (盛土：深度 0～13.73m, 旧表土：深度 13.73～15.35m)

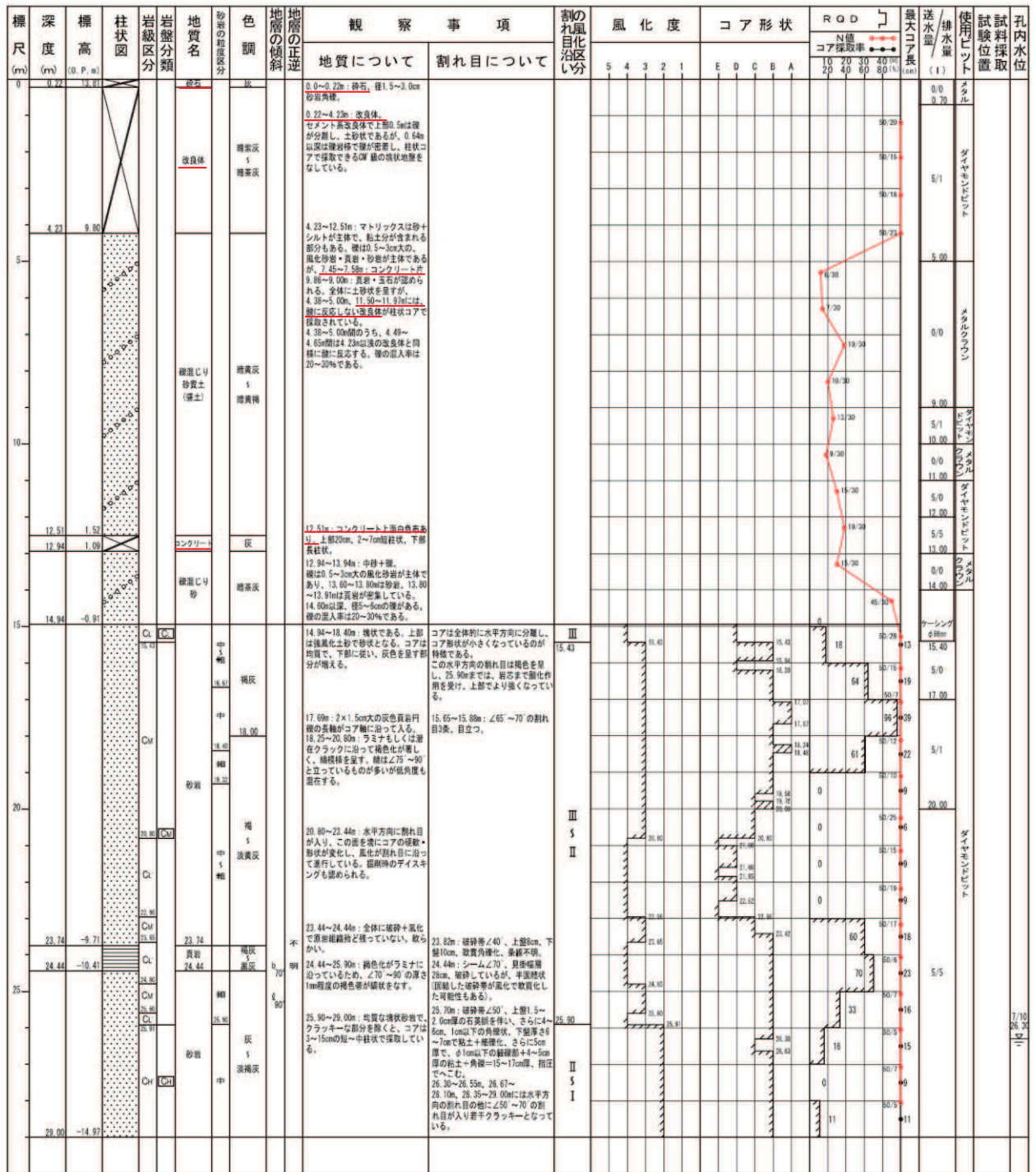


図 1-24(1) ボーリング柱状図 (25BW-21)

(盛土: 深度 0~12.94m, 旧表土: 深度 12.94~14.94m)



図 1-24(2) ボーリングコア写真 (25BW-21)
 (盛土：深度 0～12.94m, 旧表土：深度 12.94～14.94m)

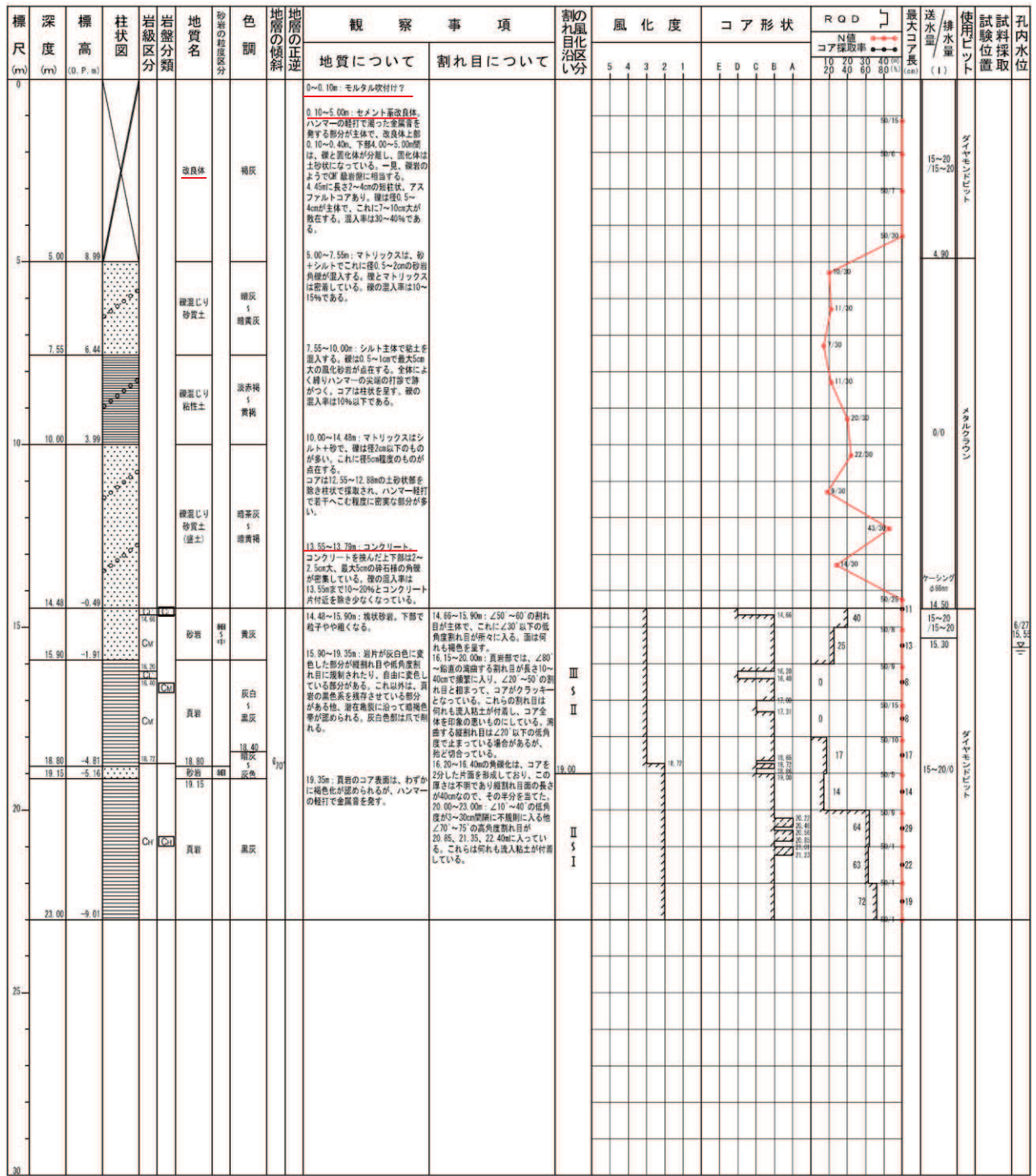


図 1-25(1) ボーリング柱状図 (25BW-22) (盛土: 深度 0~14.48m)



図 1-25(2) ボーリングコア写真 (25BW-22) (盛土：深度 0～14.48m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	色調	地層の傾斜	観察事項		割の風化 割れ目治区	風化度	コア形状	R Q D N値 コア採取率	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位
								地質について	割れ目について									
0	0.20	12.00			盛土													
	2.00	11.70			硬凝り 粘性土	黄灰		10.20まで硬質混入。マトリックスは砂質シルトで、硬さは0.5~2cmを主とし、最大4cm程度を混入する。硬さは異質・砂岩で風化により軟質化したもの、新鮮なものがある。硬の混入率は10~20%である。				9/32						
	3.70	9.50			砂礫	黄灰 黄灰		0.5~2cm、最大3cm程度の砂岩。頁岩角礫が60~70%で主体をなす。頁岩は、強い圧力で折れる。砂岩は貫入試験で砕かれ、硬はもろくなっている。マトリックスは砂質土。				12/30						
					硬凝り 粘性土	黄灰 黄灰		3.70~6.82m: マトリックスは砂く細粒分の粘性土でこれに1cm以下の硬が散在する硬凝り粘性土である。				10/30						
					砂礫	黄灰 黄灰		硬は砂岩・頁岩で、径1~3cm大。最大短柱径の4cm大で不規則に密集する部分がある密集部分。				8/30						
					硬凝り 粘性土	黄灰		4.50~4.60m: 短柱径2~4cm。 5.55~5.58m: 1~5cm。 6.62~6.62m: 1~3cm。 以上の密集ゾーンを除くと混入率は20~30%である。				14/30						
					砂礫	黄灰		6.62~11.00m: 土層に比べ硬質量が少なくなるも、マトリックスに風化は少ない。硬質径1~2cm大が主体で、0.60mに径5cm大がある。硬の混入率は、10~20%である。				5/30						
					硬凝り 粘性土	黄灰		7.15~7.46m: 含水比高い。				13/31						
					砂礫	黄灰		10.62m: 長さ2cm、幅0.3~0.9cmのピニール片あり、赤褐色。				16/30						
					砂礫	黄灰		11.00~11.40m: 硬凝り砂よりなり、頁岩片混入。				26/30						
					砂礫	黄灰		11.40m: マトリックスはシルト・粘土の細粒分に砂が混入する。硬は径0.5~2cm大が主体で頁岩片が多く、混入率は20%である。これに砂岩礫が、				29/30						
					硬凝り 粘性土	黄灰		11.72m: 7cm大。 12.68m: 4cm大。 12.72~12.88m: 6cm、5cm大に点在する。				13/30						
					砂礫	黄灰		又、粒分の少ない部分も5~7cm厚で点在する。				5/30						
					砂質土	黄灰		15.00~17.47m: マトリックスはシルトを混入するシルト砂質で、所々に下部で粘土も混入する。全体に含水量多くルーズである。硬は径0.5~2cm大が主で、最大6cm、混入率は20~30%である。				8/32						
					砂質土	黄灰		17.35~17.45m: 含水量多く、非常にルーズである。				4/30						
					砂礫 (強土)	黄灰		14.47~19.76m: 土層から硬質分が減少する。硬は径1~2cm大が主体で6cm大も混入し、18.62mに径31cmの砂岩礫がある。硬の混入率は70~80%である。				11/32						
					砂質土	黄灰		19.57m: 4cmのコンクリート片あり、これ以降、硬質混入する。				6/30						
20	20.50	-7.30		Ch	砂質頁岩	黄灰 黄灰	b. 35 ~90	10.5~1.5cmの砂礫と互層し、斜傾を呈す。コアは割断である。	全体に $\angle 10^{\circ} \sim 15^{\circ}$ の低角度でコア分断する。 20.12m $\angle 40^{\circ}$ 、面のみ。	N			5/30 6/30	15 19				

図 1-26(1) ボーリング柱状図 (25BW-23) (盛土: 深度 0~19.76m)



図 1-26(2) ボーリングコア写真 (25BW-23) (盛土：深度 0～19.76m)

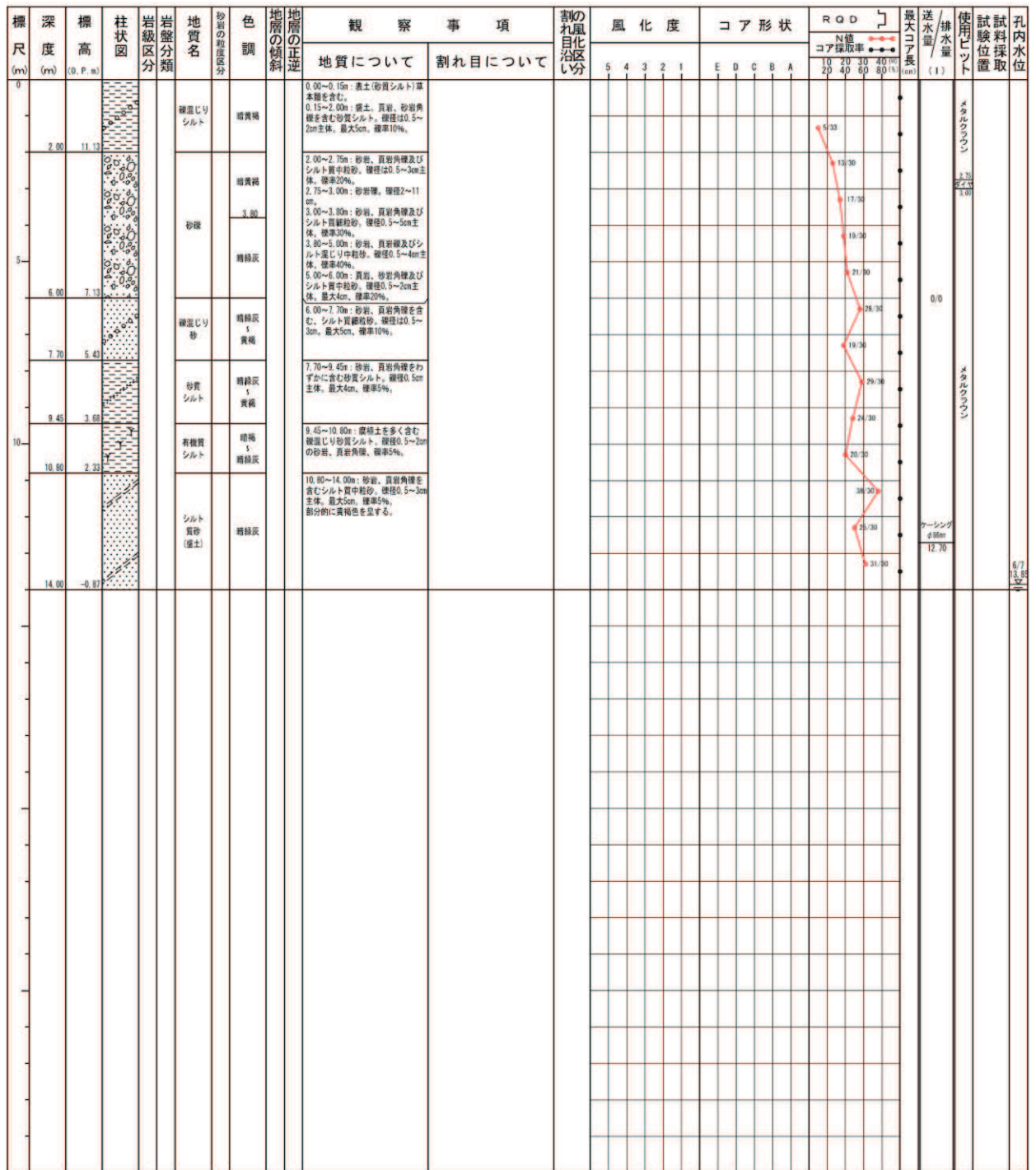


図 1-27(1) ボーリング柱状図 (25BW-24) (盛土: 深度 0~14.00m)

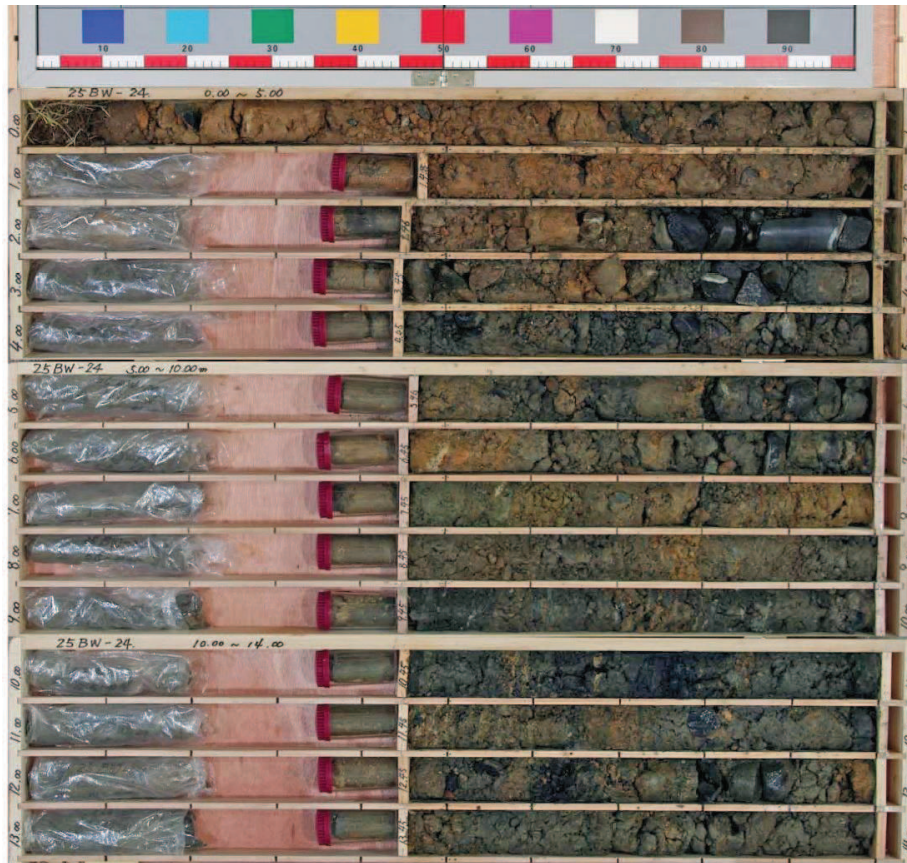


図 1-27(2) ボーリングコア写真 (25BW-24) (盛土：深度 0~14.00m)

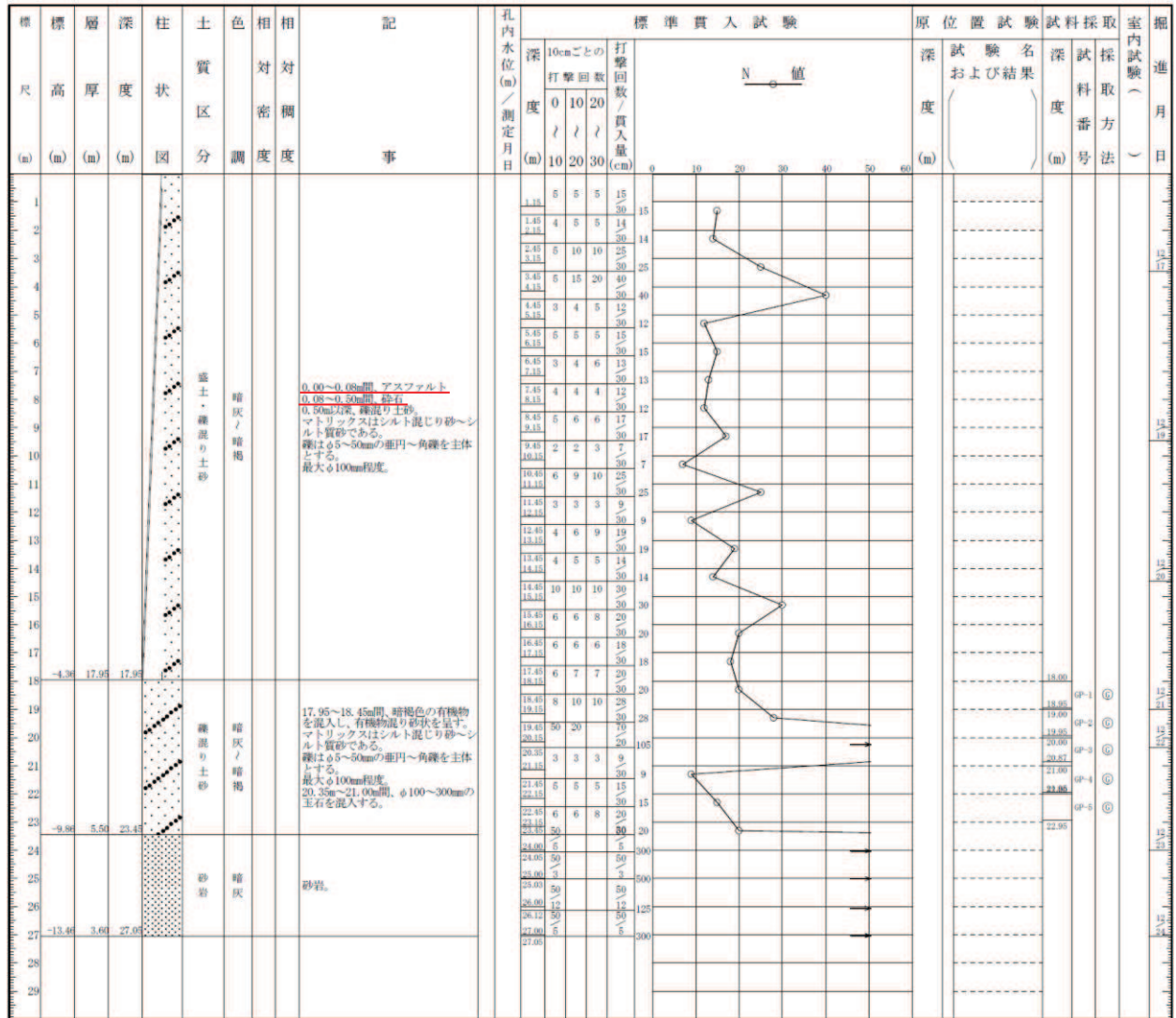


図 1-28(1) ボーリング柱状図 (28QB-1)
(盛土 : 深度 0~17.95m, 旧表土 : 深度 17.95~23.45m)

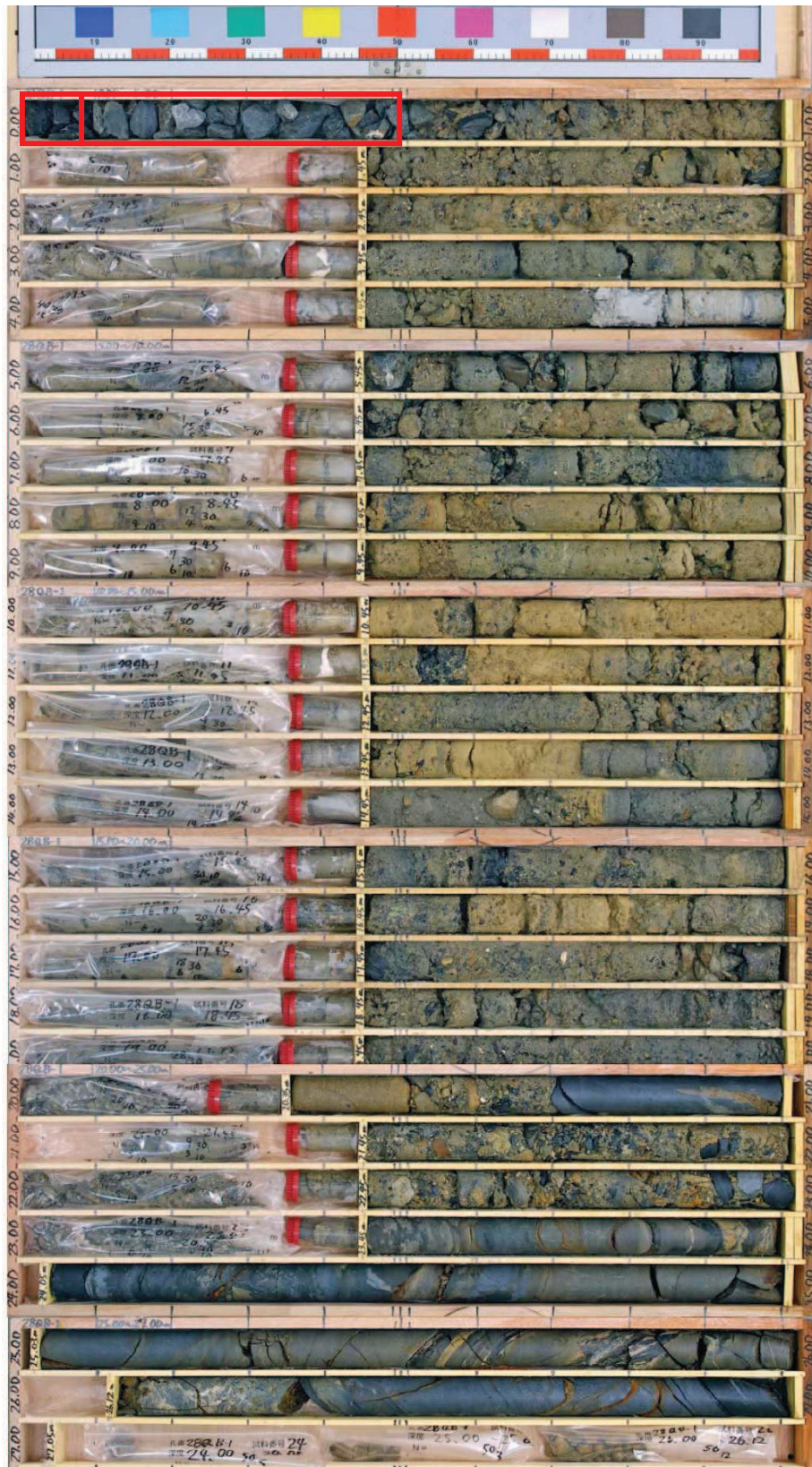


図 1-28(2) ボーリングコア写真 (28QB-1)
 (盛土：深度 0～17.95m, 旧表土：深度 17.95～23.45m)

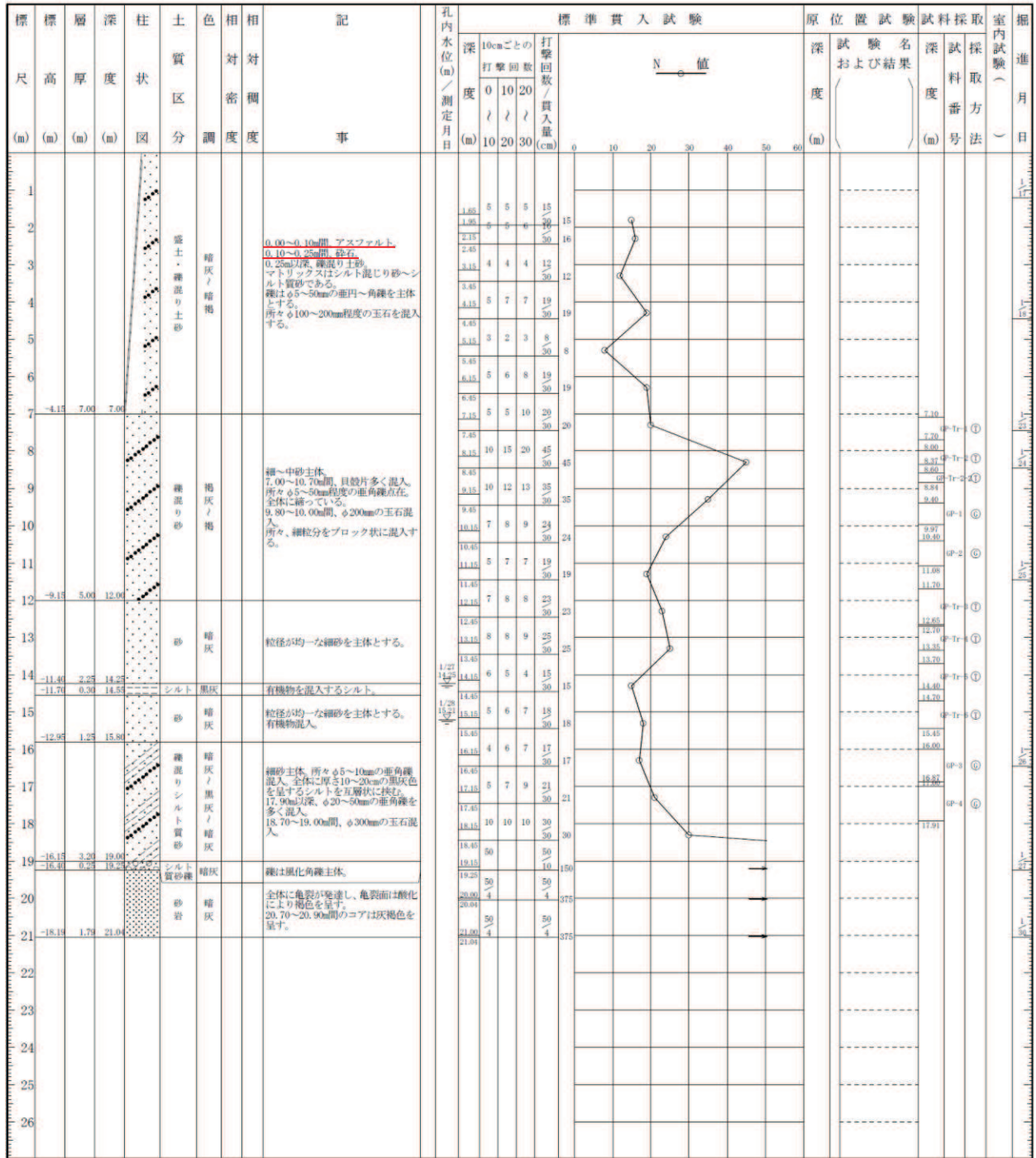


図 1-29 (1) ボーリング柱状図 (28QB-2)
(盛土 : 深度 0~7.00m, 旧表土 : 深度 7.00~19.25m)

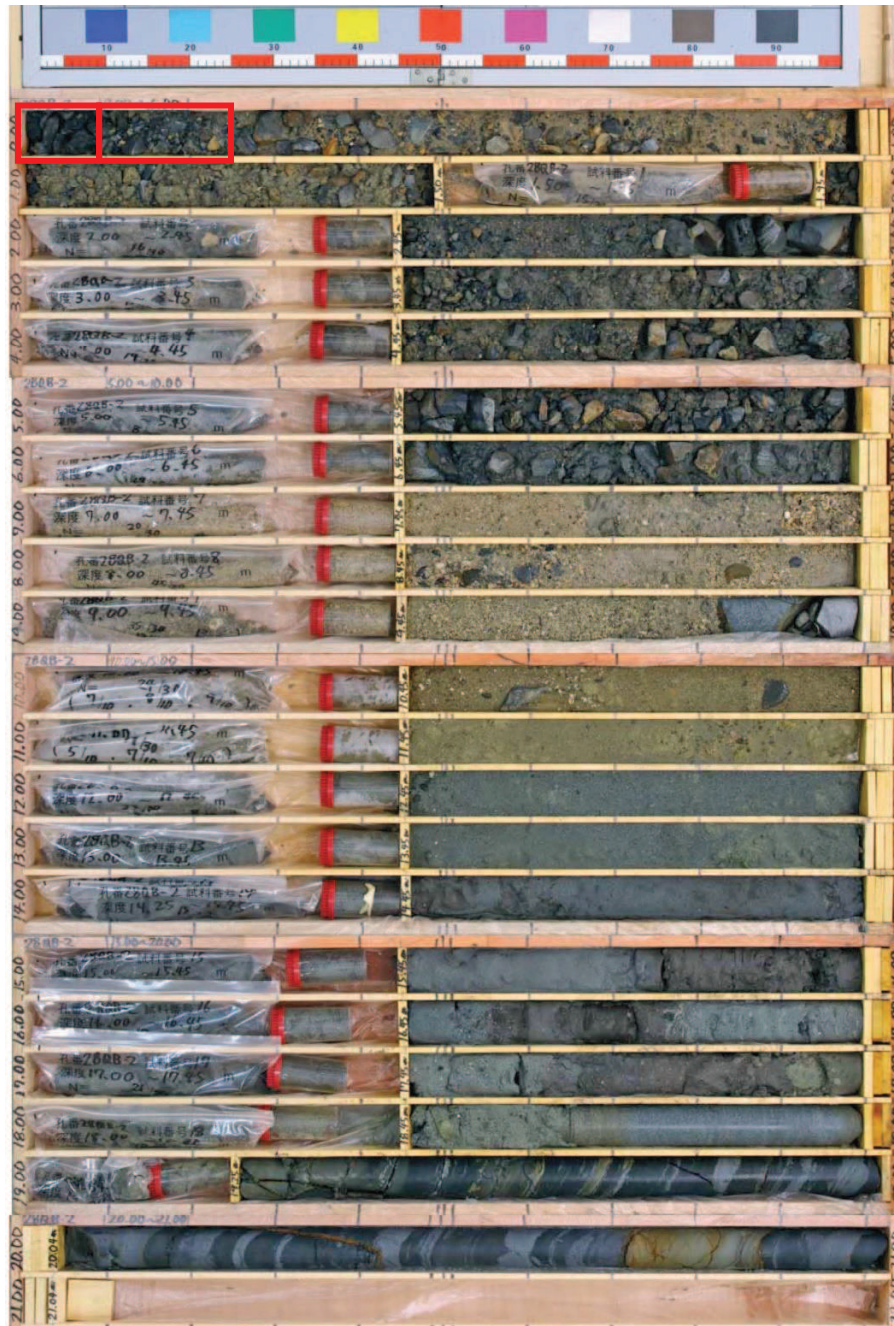


図 1-29(2) ボーリングコア写真 (28QB-2)
 (盛土 : 深度 0~7.00m, 旧表土 : 深度 7.00~19.25m)

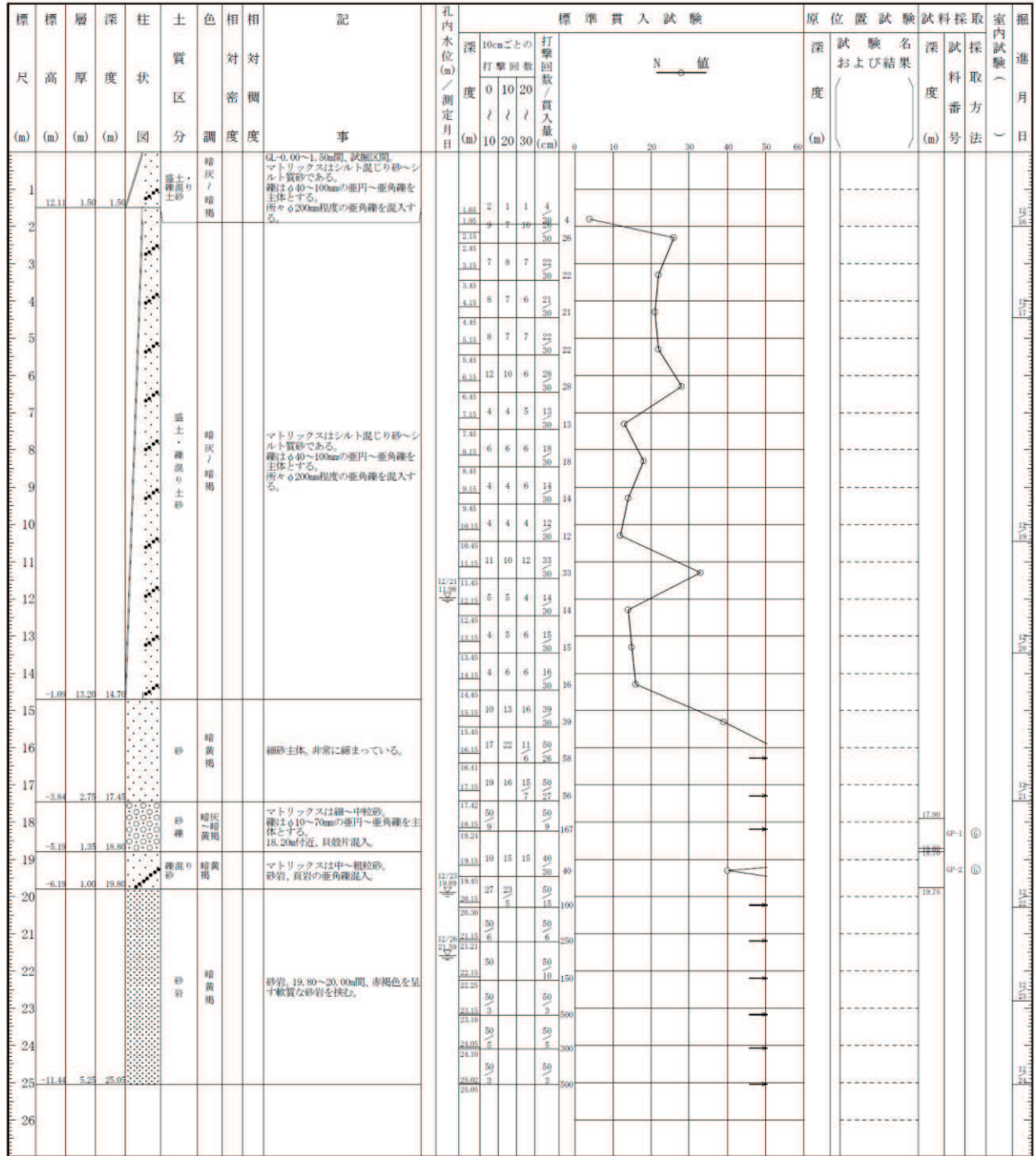


図 1-30(1) ボーリング柱状図 (28QB-3)
(盛土：深度 0~14.70m, 旧表土：深度 14.70~19.80m)

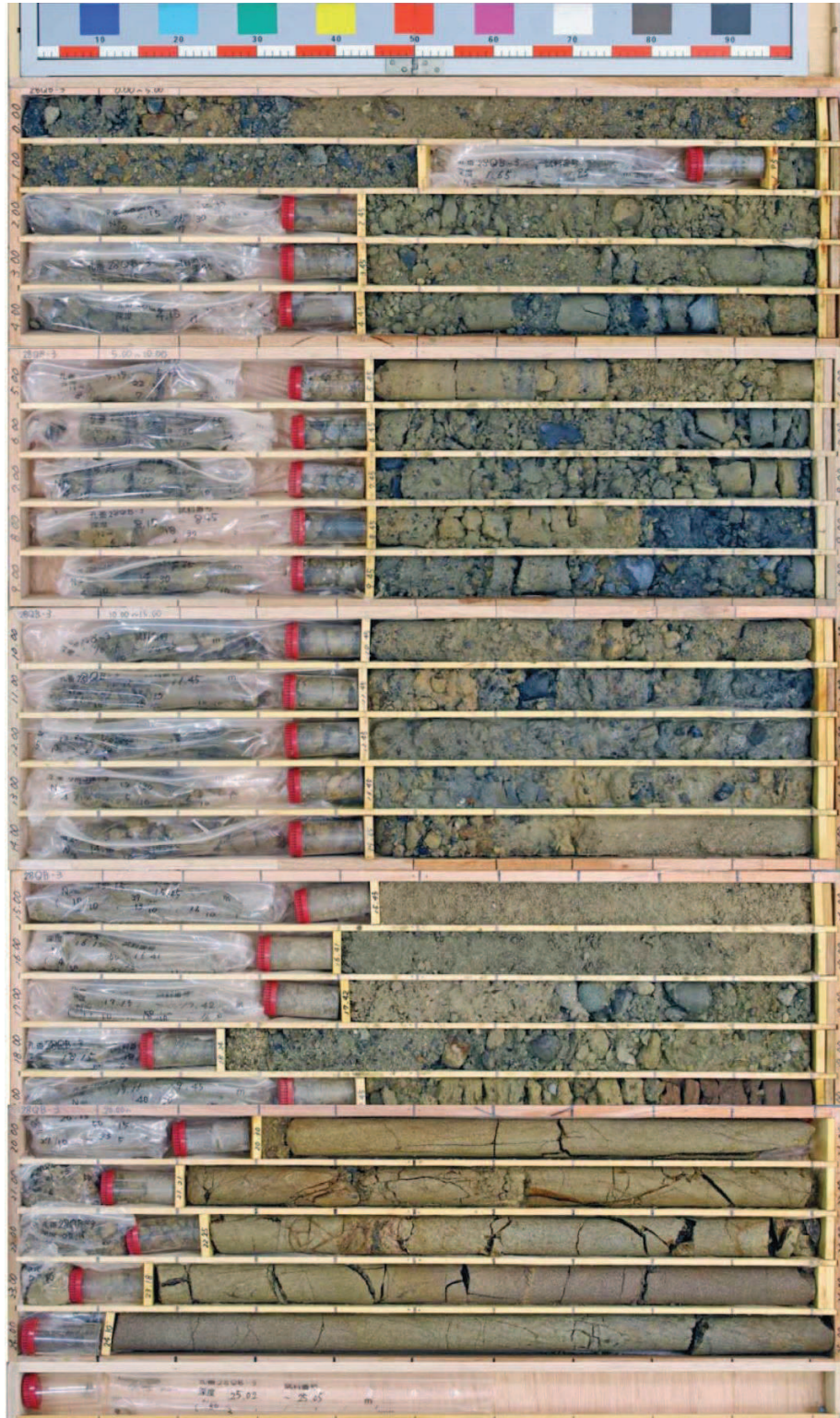


図 1-30(2) ボーリングコア写真 (28QB-3)
(盛土：深度 0～14.70m, 旧表土：深度 14.70～19.80m)

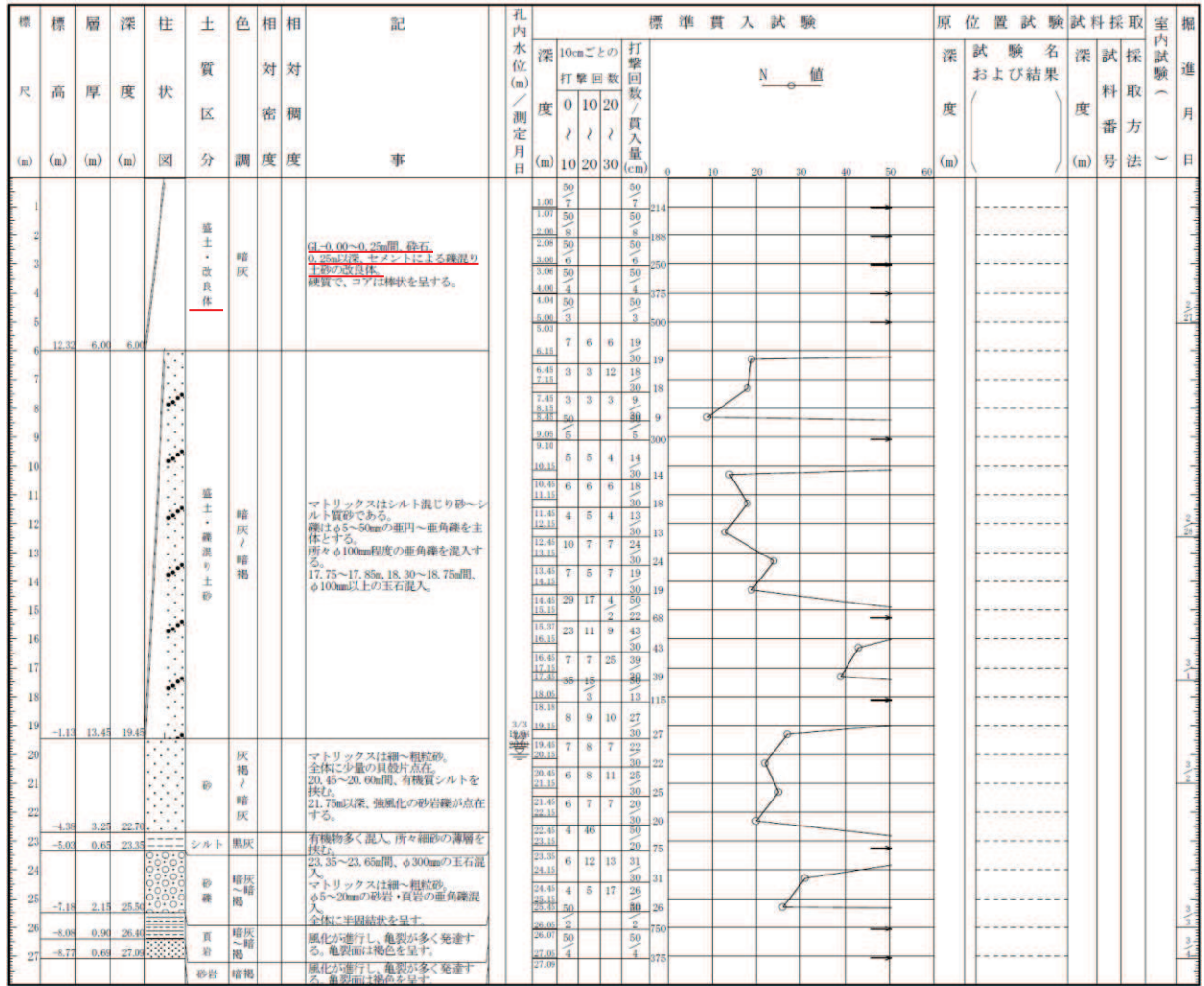


図 1-31(1) ボーリング柱状図 (28QB-4-1)
(盛土：深度 0~19.45m, 旧表土：深度 19.45~25.50m)



図 1-31(2) ボーリングコア写真 (28QB-4-1)
 (盛土：深度 0～19.45m, 旧表土：深度 19.45～25.50m)

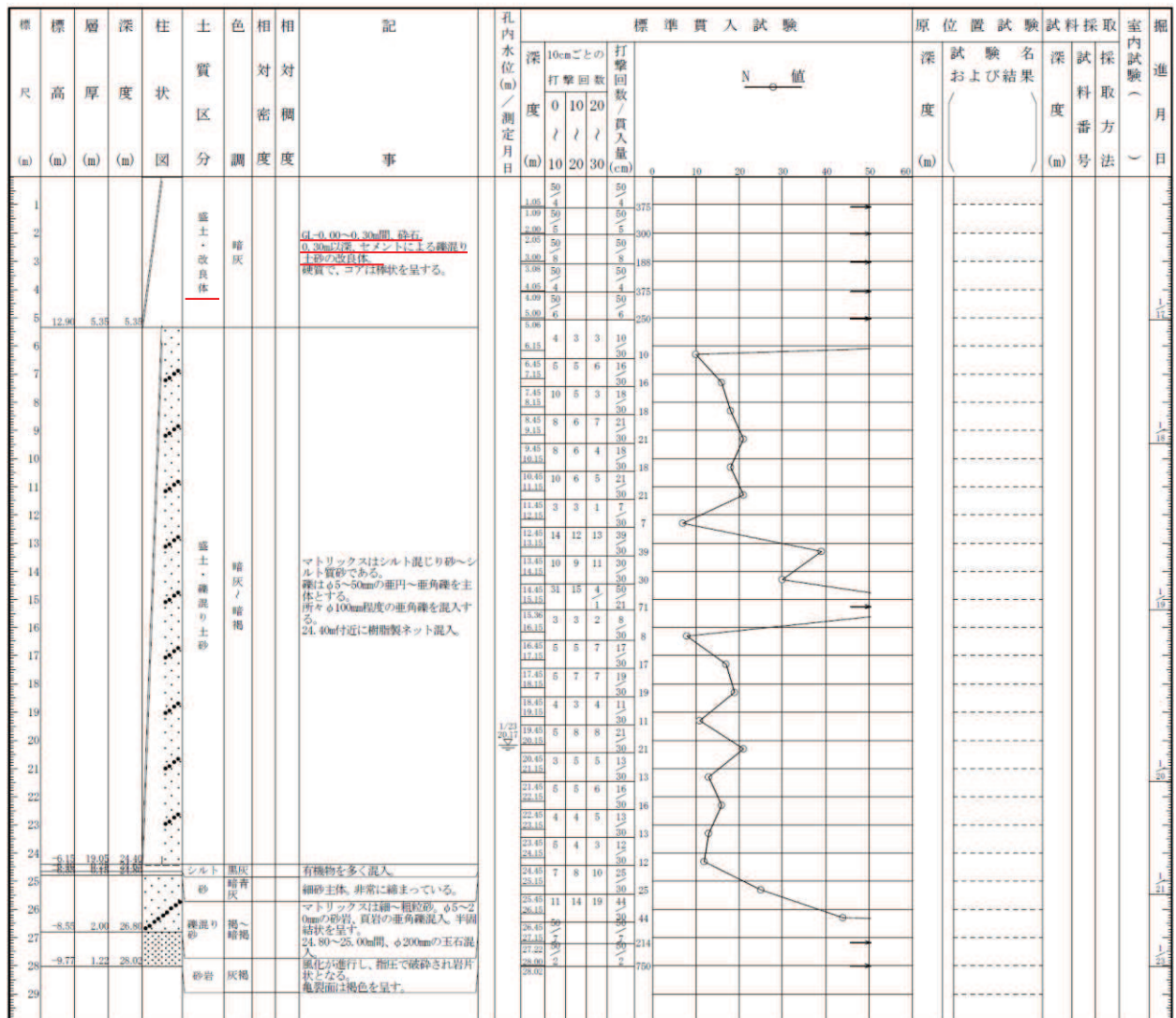


図 1-32(1) ボーリング柱状図 (28QB-4)
 (盛土：深度 0～24.40m, 旧表土：深度 24.40～26.80m)

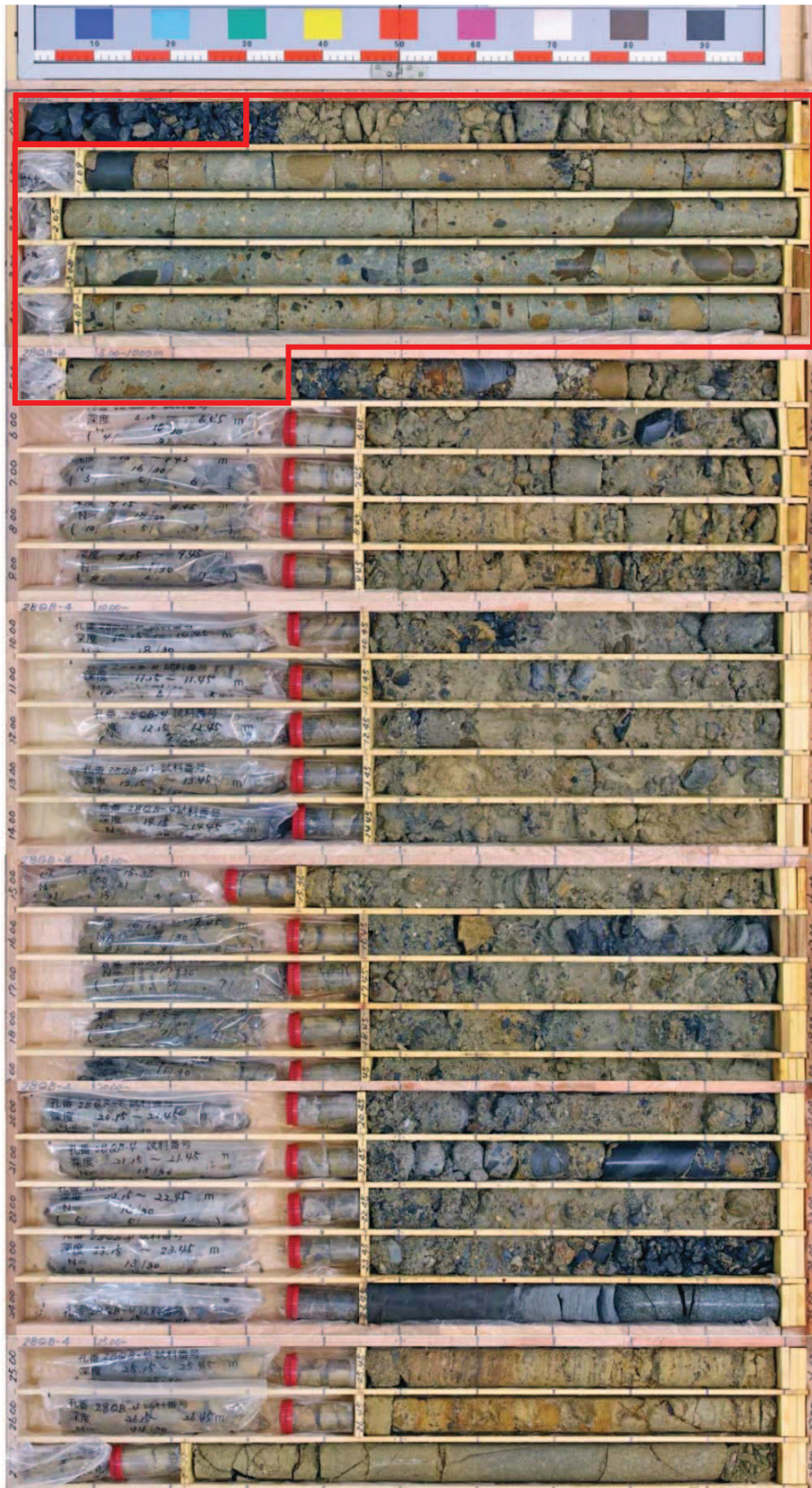


図 1-32(2) ボーリングコア写真 (28QB-4)
 (盛土：深度 0～24.40m, 旧表土：深度 24.40～26.80m)